

よつて占められ、殊に滿洲は大豆の世界最大...

【自然的條件】 滿洲の農業を技術的に見た場合最も特異とする所は乾燥地農業である...

農作物種類及分布狀態

滿洲に於ける栽培作物の種類は四十餘種あり、分布狀態は自然的制約に従つて明確な地理的區劃をなしてゐる...

Table with columns: 品名, 單位, 數量, 價格. Lists various agricultural products and their prices across different regions.

耕地

Table with columns: 安東, 遼寧, 吉林, 黑龍江, 奉天, 熱河, 察哈爾, 綏遠, 察哈爾, 綏遠, 察哈爾, 綏遠. Lists agricultural land statistics for various provinces.

滿洲は平原山地が殆ど相半し、平原には遼河松花江の二大河が貫流しその本支流流域は開墾已久しく、松花江流域は遼河流域に比較し面積遙かに大であるが、既耕地畝く農産額も前者の程でない...

土壤

既耕地の大部分は第四紀古層又は新層に...

- (一) 土壤の反應は微鹼基性であつて殆ど酸性土壤といふのではない。
(二) 可溶性鹽類は概して多く、春季乾燥期に於てはアルカリ斑各地に出現する。
(三) 有機物及び窒素含有量は概して少い。
(四) 鹽酸に不溶解の礦物質含量が多い。
(五) 石灰含量は多くないが苦土、曹達含量は多い。
(六) 磷酸及び加里の含有量は豊富である

右に依れば滿洲の土壤は理學的には良くはないが、化學的には豊饒であると云へる。滿洲土壤の缺點は有機物質及び窒素含量の少い點と、アルカリ鹽類の多いことにあるが、幸ひにして冬季寒冷なる氣候は凍結によつて土壤の風化を促進し空氣中の窒素吸集を行つてゐる...

土壤生産力比較

Table comparing soil productivity across different regions like 營城子, 吉林, 遼寧, etc.

農業經營

滿洲人の農業經營には大體自作、小作、分益、協同、請負農の五別がある。自作農を本地(ペンテイ)、自己見地(ツィコルテイ)、自己見種(ツィコルチュシ)等と稱してゐる。大農は七、八十町歩以上、中農は四、五十町歩、小農は二十町歩内外、過少農は...

五、六町歩を耕作してゐる。而して北滿地方では七、八十町歩から百町歩を耕作する者も少くないが、關東州内では二、三十町歩を越ゆる者は稀である。

小作農を租地(ツータイ)或は租借(ツーチエ)と云ふ。小作人を租戸(ツーパー)、地主を地東(タイトン)と稱ふ。小作人は主として過少自作農である。種類に永租(インツ)、(永小作)と租(ツ)、又は佃(テン)、(普通小作)の二種に分れ、小作料は一半或は三分の一で、金納は少く穀納(物納)が多い。分益農を分賄(フエンチン)、辨賄(パンチン)、分種(フエンチン)、種分收(チユンフエンシヨウ)等と云ひ、家屋、農具、種子、肥料、日用品衣服、食糧等一切を地主持とし收穫後前記消費々用を含めて地主六、七分、小作人四分の比率を以て決済するのを辨種賄(パンリチン)、辨内賄(パンネイチン)と云ひ、家屋だけを地主持とし、地主四、五分、小作人五、六分の割合に分配する辨外賄(パンワイチン)との二種類がある。

共同農を挿具(ソオチユイ)と稱し、小農、過少農等の間に行はれる方法であつて、役畜、農具等各々持寄つて順次耕作、收穫に當るのである。請負農を年具(ニユウチユイ)と云ふ。畜類又は勞力を以て賃銀を得、耕作、中耕作を請負ふ方法である。

農法

農法は輪作、連作、掠奪、休閒の四法に分れる。輪作農法は一般的に行はれ高粱、大豆、玉蜀黍のうち一種又は二種を主作物とし粟、小麦等の作物と交互に三年又は四年の輪作を行ふのであるが更に糜(ミーツ)、陸稻、稗其他の作物を加ふる場合は四年、五年又は六年、七年の輪作とする。

連作法は南滿地方の土地狭く又は低窪地で濕潤な場合か鹽分の多い土地等で、特別の作物以外栽培されず、又掠奪農法の場合等に行はれる。

掠奪農法は最も原始的農法で主として未墾地の多い蒙古地方に行はれ、草原中の肥沃地を求めて糜子(ミーツ)を連作し、地力の消耗するに至れば他の新しい土地へ移るのである。

休閒農法は土地に餘裕のある蒙古地方に滿洲人の行く農法で熱河省地方にも行はれてゐる。普通全地の三分の一を残すか、又は三分の一を耕すかであるが規則正しいの不規則なものとある。

耕耘は凡て牛、馬、騾等に犁を曳かせて行ふので耕地餘地等と稱し耕地、餘地は全面を平坦にするだけで畦をたてない。集約的な方法で前年の休閒地か、蔬菜地等に行ふ露地と云ふのは、畦と溝とを耕鋤し

ながら作整する方法である。

耕鋤期は四、五月頃で普通播種前一回又は二回之を行ふ。肥料は主として土糞を用ひる。即ち牛、馬、豚、狗、鶏糞又は人糞と肥土を混じたものである。其他穀類の絞り粕、豚血、池、沼、溝の底土等を用ひる。

播種法は條播を普通とし點播之に次ぎ撒播は特殊法である。條播とは點播(テンファール)を用ひ粟、稗、高粱、糜子(チンツ)等の小粒種子を器に入れて播く法と手を使つて大豆を播き付くのと、擇種(シユアイチエ)と云つて前方に投下しながら後退して播く方法がある。播種後は轆子(コンゴ)を役畜に曳かせ必ず圃上を鎮壓する。畦幅は一尺六、七寸から一尺八、九寸を普通とし、丈高いものと低いものとを交作する。

【農事合作社】 産業開發五箇年計畫の具體化の完壁を期するため國家施設の下に農村の組織が要求され、政府では康徳四年夏農事合作社法を制定、更に産業部令をも制定して之が實施に移つた。合作社制度の根幹となるべき縣合作社は農業の開發を促進し、農業者の福利増進を計ると共に生産品の配給を圓滑ならしめるを目的とし原則として縣の區域によつて設立され縣内農業者を以つて構成し而も之が設立に従ひ漸次從來の縣農會は解散し棉花、烟草その他の既

存組合も次第に合作社の機構に統合せしむる様改組し、金融合作社と農事合作社の金融機能との關係も又適當に調整されることになり、而して縣合作社の活動を活潑ならしむるため實行合作社を縣合作社の下に組織するようになつてゐる。

二關東州の農業

關東州内の農業は滿洲全地方と等しく主として滿洲人の經營であつて、若干の日本果樹園がある。主要農産物は玉蜀黍、高粱、粟、黍、稗、大麥、小麥、大豆その他豆類水稻、陸稻、陸地棉等である。蔬菜は都市附近に於て營業的に栽培されるものとして蘿蔔、葱、茄子、白菜、甘藷、胡瓜其他がある。管内の風土は落葉果樹に快適であつて、果實は品質優良のため盛んに滿洲支那各地に輸出される。種類は林檎、梨、桃、葡萄、櫻桃、杏、李、山椒、棗、海棠その他の雜果である。昭和十二年年度の農産物作付面積は二六二、一三五町歩、收穫高三千二百二十五萬餘石であつた。

管内の土地には業主權、典權、租權が認められ夫々が内地の所有權、不動産質權、貸借債權と同様に扱はれてゐる。州内土着民は永代農業を本業としてゐるが滿洲各地の商工業勃興につれ農家子弟の賃銀とりに

出稼ぐ者は年々増加する。農家は玉蜀黍を主食物として高粱、粟も用ひてゐる。稗は牛馬の飼料又は燃料とし、建築材料や容器を作る。

【蠶業】 蠶業は家蠶と野蠶の二種がある。家蠶は明治四十一年頃から養蠶が試られ逐年好成績を示し、日本蠶と支那在來種の交種がこの地方に適し漸次盛になり近年三百石内外の繭を産出してゐる。野蠶は柞蠶、樺蠶、天蠶の三種類があつて、柞蠶は柞樹林によつて飼育するもので近年柞蠶飼育林が造營せられた。樺蠶は山野に自然に生ずるもので繭の利用はまだ行はれず、天蠶は日本からの移入種で適種なることが證據立てられてをり、一般滿洲人間にも家蠶の飼育が盛んになりつゝある。

林業

【概要】 往古滿洲の地は通古斯族が「森林の海」と稱した如く鬱蒼たる森林を以て蔽はれてゐた。

此の地は清朝發祥の地として乾隆の頃より伐木開墾を禁ぜられてゐたが、後多數の侵入者を見たので遂にこの地と一般に開放

するの已むなきに至つた結果林地は彼等の燒燼を蒙ること大であつた。然し千古の美林は今尚北滿の到る處に存し「森林の海」なる呼稱の面影をとめてゐる。

○森林の分布—滿洲は五月より九月までの植物生育期間に溫度が極めて高く且つ此の期間に年降水量の大部分が集まり、濕度が最も高いことが植物の生育に適してゐる。森林地帯として囑望されてゐる地域は松花江及びその支流、拉林河、圖們江、牡丹江、鴨綠江右岸並にその支流、渾河上流地域、濱北沿線の一部及び大小興安嶺内に屬し、呼倫貝爾西南、錦州、熱河を扼する所謂蒙古地域は森林地帯が極めて稀で、廣漠として草原と砂丘連続しところ々々に集團的樹林を見るに過ぎない。

○森林面積及び立木蓄積量—全滿森林面積は八千七百萬陌、立木蓄積量は約三十七億立方米(約一三三億石)と推計せられてゐる。○主要樹種—滿洲の森林は之を森林植物帶上から見れば、溫帶北部に屬するものであるがその主要な部分は寒帶の圏内に屬するものである。樹種は已に知られてゐるものだけでも三百五十餘種に上つて居りそのうち有用樹種として針葉樹八種、闊葉樹二十一種が擧げられてゐる。

立木蓄積量

Table showing timber stockpile volumes in various regions of Manchuria, categorized by tree species like Pine, Spruce, and Fir.

畜産

Table listing various types of livestock and their production volumes, including sheep, horses, and cattle.

五十餘萬石の生産をみるに至つた。

Table showing production statistics for various agricultural products, likely related to the livestock and timber sectors.

畜産業

Text discussing the livestock industry in Manchuria, mentioning the role of different breeds and the impact of local conditions.

してゐる。

Text describing the general conditions of livestock raising in Manchuria, focusing on the types of animals and their uses.

Table listing different types of livestock (horses, sheep, cattle) and their associated products or uses.

家畜

Detailed text describing the characteristics and uses of various domestic animals, such as horses and sheep, in the region.

Text discussing the role of these animals in the local economy and the specific breeds raised in different parts of Manchuria.

Text describing the characteristics of horses raised in Manchuria, including their size and uses.

Text discussing the role of sheep in the region, particularly in wool production and as a source of meat.

Text describing the characteristics of cattle raised in Manchuria, including their uses in agriculture and for meat.

Text discussing the role of various types of livestock in the local economy and the specific breeds raised in different parts of Manchuria.

がわるく頭は小さく胸は幅狭く、耳が小さく、四肢は長く毛色は褐色なのが普通である。馱載能力は六十貫内外、一日に二三十哩を行くことが出来る。

犬—農家は番犬として必ず一、二頭の犬を飼育し蒙古人も數頭の悍猛な番犬を飼つてゐる。支那犬と蒙古犬の二種あるが支那犬は滿蒙の犬の九割を占め體軀魁偉(體高

◇皮革類輸出額 (德康五年度)

牛皮	馬皮、驢皮及騾皮	其他	計
一、六〇三	一、二五〇、四〇〇	一、八六四	一、二〇六、七九七
◇主要畜産品輸出額 (德康五年度)			(單位 圓)
綿羊皮及山羊皮	犬皮及狼皮	熊皮及浣熊皮	コリンスキー皮
一、五七、〇〇〇	三、七〇、六〇〇	三三、三九七	二、三三、五八六
毛皮			毛(單位 圓)
皮	革	獸毛	
一、一〇、七九七	一、一〇、七九七	七、六六、〇七七	

水産業

【漁業】 河川は淡水魚に富み種類數も豊富である。即ち北は黒龍江本流を境として松花江の支流、南部に遼河がある外、湖沼、沃地等にも豊富な魚類の棲息を見る。此地の淡水漁業の起源は明かでないが、凡そ今より一千年前、滿洲最古の文

二尺、體重三十貫を超えるものもある。性悍猛で専ら番犬として飼はれてゐる。蒙古犬は體軀細長く顔面も細く尖り口角深く切れ目は小さく耳は直立して慥悍猛の相を備へ輕快敏捷で六、七尺を跳躍することが出来る。狩獵に用ひられる外番犬として飼はれてゐる。また皮は滿蒙の犬皮として已に名高いところである。

業となつたのは舊東支鐵道の敷設後呼倫湖水系に於て一九〇四年頃ロシア人によつて行はれたのを始めとする。然しながら現在の北滿地方は未だ人煙稀薄で漁業の如きも極めて原始的な域を出でない。

化國として榮えた渤海國の時代に、鏡泊湖及び其附近に漁業が行はれ、特に鮓は美味を以つて名産と稱せられ、また契丹國の時代には松花江水系において毎年冬期水面に穴を穿つて大漁をとり、國王は群臣を集めて宴を張り之を頭漁宴と稱したことが傳へられてゐる。斯くの如く滿洲の淡水漁業は相當古くより河湖附近の住民によつて行はれたものと想像されるが、これが經濟的企

現在の水産類は淡水方面に於て約五百五十萬圓、海洋方面に於て約二百五十萬圓合計八百萬圓見當とみられ、高級鹽乾品、罐詰類等年額約八百萬圓内外を輸入してゐる。

より七月まで、秋期は八月より十月まで、七月より八月までの約一箇月は雨期のため休止する。五、六月は生産量最も多しその採鹽量は年産額約五、六割を占め、この兩月中の天候、採鹽状態の良否は其年の産鹽成績を左右する。製鹽法が天日製法(晒製法)に依る爲天候の影響を多分に受けるのである。最近の生産高は滿洲國三十四、五萬噸、關東州四十四、五萬噸である。

ソ、蝦、海蝦、鱧、鱧子魚、ヒラス、鱈子魚、鮓、鯨等である。漁法も相當に發達し、機船による底曳網漁業が在來の支那人式漁業を壓倒してゐる。昭和十三年度の漁獲高は九百二十四萬四千餘圓であつた。

【製鹽】 渤海及び黃海に面する沿岸は干潟地が多いので古來鹽業が著しく發達し殊に滿洲國と關東州の沿岸は降雨量が少いことゝ相俟つて鹽田面積廣く重要な産業となつてゐる。滿洲國の鹽田はこの兩海岸に散在し、營蓋場、復縣場、莊河場、盤山場、錦縣場、興發場の六場に分れてゐる。何れも概して自然的條件に恵まれた好鹽場である。鹽場中復縣場は滿洲總生産額の五十%近く、營蓋場は三十%内外を産出して鹽をなしてゐる。兩鹽場の春期製鹽期は三月

二關東州の漁業

東は黃海、西は渤海に面して滿支人向魚類の豊富な廣い漁場を有し、出漁獵地の利を占めてゐるので漁業は古くより相當發達してゐた。明治三十九年關東州が日本の租借地となつて以來日本人による漁業と日本人漁業に倣ふ支那人漁業者が激増した。關東州を根據地とする漁場は北緯三十六度以北の黃海及渤海全部の公海で州内に於ける漁業根據地は大連と旅順を第一とし、その他營子灣、雙島灣、羊頭灣、小平島、老虎灘、大孤山、廣鹿灣、獐子灣、海洋島等である。漁獲の主なるものは鯛、偏口魚、比目魚、黃花魚、金頭、鱈、ホウバウ、エ

鑛業

【鑛業沿革】 滿洲の鑛産資源は約四十種に及び主なる品目を列舉せば次の通りである。金、銀、白金、銅、鉛、亜鉛、鐵、アソチモニ、アルミニウム、ニッケル、コバルト、硫化鐵、クロム鐵、マンガン、蒼鉛、重石、水鉛、水銀、砒、磷、硫黃、黒鉛、石炭、石油、土瀝青、油母頁岩、石灰石、白雲石、マグネサイト、螢石、長石、耐火粘土、重晶石、硝石、石膏、珪石、石棉及雲母等の諸鑛であり、右は法定鑛物として擧げられてゐる。就中鐵、石炭、金は日本の資源が甚だ貧弱なるため一層重要性を有し、滿洲國の鑛業政策も目下右三者の急速なる開發に向けられてゐる。曩に産業開發五箇年計畫を樹立したが、その重點は結局鐵、石炭の開發に置かれたものと云ふべく、殊

に日本の正貨現送による金準備漸減の結果は滿洲の産金増加が必然的に緊急を要することゝなり、鐵、石炭の増産と共に重要性を帯ぶるに至つた。主要鑛産量中現在判明せる推定埋藏量は次の如くであるが、最近熱河大管轄に約三億噸の油母頁岩も發見せられた。

の合理化を期せしめ、又生活の必需品其他國民生活に重要な關係を有する商品に就ては適切な供給と價格の調節を行ふこと。二、特許法、意匠法、商標法等を發布して工業所有權の保護を圖り、度量衡の制を統一し其他交易所制度の改善、寄託保險等の法制を定むる等取引に關する文明的施設を行ふこと。三、關稅政策は國家の振興を旨とし國際取引の増進を期すること等の方針を明示し、中央に經濟部商務司を置き之を中心として一健全なる發達に努めてゐる。

【商工会會】 商工業の改善發達を圖るを目的とし、連絡調整、調停仲裁、通報、指導、仲介斡旋、説明、鑑定調査其他の業務を行ふもので、その組織は法律により定められた資格該當者を洩れなく加入せしめ、それ等會員によつて組織される。

會の指導運用機關は參事總會と會務職員で、參事は政府から選任せる人と、政府の委嘱せる銓衡委員の選任せる人々によつて組織され、會務職員は政府の任命する會長副會長及び理事から成つてゐる。

而して右機關は康德四年(昭和十二年)十二月公布を見た商工会會法によるもので、從來の日商側商工会議所、實業會、商工会及び滿商側の公議會、商務會は何れも康德

五月末日迄に新機構下に合併せられ現在までに全國に百二の設立を見た。

【輸入組合】 南滿主要十七都市の日人小賣商助成機關として、滿鐵の融資により組織されたもので日本品の販賣擴大、共同仕入と低利資金の融通、商店經營並に商習慣、仕入の改善、仕入の斡旋、委託販賣の仲介、運賃諸掛の低減等一の業務を行ふもので、昭和二年大連に設立以來漸次各地に及びし商工業に非常なる貢獻をなしてゐる。

【取引所】 取引所は官營と民營に分たれ官營に屬するものに大連、新京、哈爾濱の三取引所、民營のものに大連株式商品取引所、安東取引所及び滿洲取引所(奉天)がある。前者は特産及び特産に關係あるものを扱ひ、後者は有價證券、綿糸布、麻袋、麥粉、砂糖等の取引をなしてゐる。

【市場】 日本側市場は關東州中央卸賣市場、關東州水産會魚市場の二つで滿洲側としては大同二年暫定を見た水産市場法及び康德元年發布施行を見た中央卸賣市場法によるものがある現在までに開設を見た中央卸賣市場は哈爾濱、吉林の二場で新京、奉天、齊齊哈爾の三市に於ても開設が計畫されてゐる。

【當舖】 滿洲に於ける金融機關として看過し得ないのは當舖の存在である。當舖

は云ふまでもなく庶民金融機關であるが、日本に於ける質屋と同列に觀念さる可きでない。特に近代的金融機關の缺如せる滿洲農村に於ては從來唯一の大家の金融機關として活躍し寧ろ地方銀行的色彩を有してゐた。之を利用するものも銀行を利用すると同じ氣持を以て接し、また經營者も高級の業種を營むものとして誇りを持つてゐる。

日本の質屋が主として享樂貨財を取扱ひ質貸金も主として消費經濟に向けられるに反し、當舖に於ける質物は生活必需品を主とし、農村に於ては農具、荷馬車の類まで受入れられる。當舖の規模も概ね日本の質屋に比すれば大きく、その質代金の總額も比較的多額に上つてゐる。即ち康德四年六月末現在に於ける全滿當舖數は七百四十九店、質貸金は三〇、二九六、五〇四圓に上つてゐる(内大興公司經營當舖二百三店、質貸高一四、四七四、三二七圓)。

唯當舖の特色であると同時に大なる弱點であるのは、その金利が餘りに高率なることであつて、比較的有利である大興公司經營當舖すら月利二分五厘即ち年利三割であるから他は推して知るべしである。されば近年當舖は金融合作社の普及發達によつて大なる脅威を受けつゝある。

【滿商の組織形態】 滿人商店はこれを單

獨經營のもの及び共同經營のものに大別することが出来る。前者は日本のものと大差はないが、後者は財東(ツァイトン)と呼ばれる資本主と掌櫃(ジャングイデイ)といはれる營業擔當者があつて、店の營業一切がこれに委せられ、店には小掌櫃的、夥計(ホーヂー)等數名乃至數十名の店員を擁してゐる。

而して此等商店は相互に連鎖關係を作り鞏固なる團結を持ち、商業に對する利益の防護、同業者間の競争抑制、仕入販賣の互助、紛争の處理等を圖り顯著なる發展を遂げてゐる。

【滿人の商號】 商號として愛用される文字は漢字四萬の中約五十で、吉祥開運に關する文字、道德的意義を有する文字、國名又は地名より取りたる文字、美的觀念に基づく文字等が多い。又號尾は同一商業に共通される特質がある。その一、二の例を示せば次の通りである。

- 行 (ハン) 問屋、仲買
- 棧 (ツァン) 倉庫、旅館
- 公同(コンス) 會社
- 廠 (チヤン) 製造工場
- 莊 (チヨワン) 兩替商、吳服商
- 【滿洲國會社法】 滿洲國では從來民國十八年に制定された公司法を大同元年教令第

三號によつて援用してゐた。この法律は日本の現行商法中の會社編の規定を母法とするものであるが立法技術上相當缺陷があり且つ解釋上疑義が多かつたので滿洲國司法部當局では新會社法の立法審議に着手幾多の進歩的改正を盛り康德四年六月二十四日公布同年十二月一日より施行を見た同法は五章四百四十八條より成り大體に於て日本商法の會社編改正案に倣つて立案されてゐる。

一九三七 一、九三、七
一九三八 一、九三、八
一九三九 一、九三、九
(上半年) 一、九三、九

【概要】 一八六四年牛莊の開港を以て世界經濟と切線を描いた滿洲は爾來帝政ロシアの極東經營に拍車を加へられ、次いで日本の滿蒙に對する經濟的寄與により逐年躍進をつゞけ、今日の盛大を見るに至つた。即ち北滿鐵道の開通及南滿鐵道を中心とする諸鐵道の敷設、諸港灣の設備と移住民の増加に伴ふ奥地開發の進展と相俟ち、逐年貿易額は上昇した。

此の貿易中でも日滿貿易が主要な地位を占めてゐることは言を俟たない。

◇國別輸出入額表(康德五年)

年 度	輸 出	輸 入	入 超
一九三二	六、八、三、三	三、七、三、三	(出超) 三、一、〇、〇
一九三三	四、八、三、七	五、五、八、三	六、五、四、六
一九三四	四、八、三、三	五、三、五、三	五、四、七、〇
一九三五	三、三、〇、七	六、四、二、九	三、一、一、二
一九三六	三、〇、三、六	六、二、八、九	三、二、五、三

國 名	輸 出	輸 入
日 本	三、七、三、三	三、一、一、二
朝鮮	四、九、二、八	三、〇、九、七
中 國	三、三、六、九	三、七、五、七
蘇 聯	三、九、三、七	三、五、二、一
香 港	三、〇、一、三	一、五、八、三
英 國	三、六、六、二	三、〇、三、三
英 印	五、四、六、八	七、三、七、三
英 印	五、二、一、八	五、〇、六、〇
佛 國	三、〇、三、七	三、〇、三、七
獨 逸	三、〇、三、七	三、〇、三、七
白 蘭 地	三、〇、三、七	三、〇、三、七
伊 太 利	三、〇、三、七	三、〇、三、七

米	11,200,000	2,000,000
其他	101,147,000	1,100,000
合計	112,347,000	3,100,000

○累年輸入額(單位千圓)

昭和十年	同十年	同十年
食料	1,293,267,250	2,000,000
嗜好品	1,293,267,250	2,000,000
原料品	1,293,267,250	2,000,000
用製品	1,293,267,250	2,000,000
全製品	1,293,267,250	2,000,000
その他	1,293,267,250	2,000,000
合計	1,293,267,250	2,000,000

【貿易系統】 滿洲の貿易は税關別に南滿(大連、安東、營口)、北滿(哈爾濱)、東滿(龍井村、圖們)、西滿(承德、山海關)に大別される。内南滿三港の貿易額は九十%以上を占め貿易の大勢は、南滿三港の消長により左右されると云ふも過言ではあるまい。

北鮮羅津港が完成せば、京圖、拉濱、圖佳の各線と相聯絡してやがて裏日本時代を現出すべくその將來は刮目すべきものがある。尙奉天線蘆島は阜新炭輸出を主とし遼西、熱河一帯の物資吞吐港として躍進すべく築港完成も間近い。

輸出品—大豆、雜穀及び種子、豆粕、豆油、石炭、鉄鐵
輸入品—綿織物、鐵及び鋼、小麥粉、車輛類、機械類及び工具、木材、麻袋

財政・金融

建國前の財政は紊亂を極め、幣制、税制の亂脈不統一は國民經濟の健全なる發達を許さず、建國當初國際聯盟調査團をして、此の地に於て財政確立の萌芽をすら見出し能はずと嘆せしめた程であつたが、爾來政府は財政の根本方針として、堅實なる財政制度の採用と健全通貨制度の確立により國內信用程度を發達せしめ産業開發の素地を作ることに努力を續けた。其結果建國年度より康徳三年に至る財政創成期、即ち國家體型整備時代の財政政策の遂行に成功し、次いで康徳四年よりは國力増進開發時代に入り、財政方針も斷然積極主義を採用、世界列強が赤字財政に喘いでゐる時獨り新興滿洲國は安定通貨主義並に健全財政主義の徹底を期することを得た。國家豫算に就ては建國直後國庫統一の方針を決定し、數箇月の間は月割豫算に依つたが、大同元年度

より年度豫算制を採り、近代的の明確なる會計制度を實現し、更に康徳三年度豫算よりは滿洲國經濟の實情に鑑み、曆年度に依る會計年度を確立し、決算を包括する新會計法を制定した。康徳六年度の滿洲國豫算額を示せば次の通りである。

一般會計	40,377,655	40,377,655
特別會計	1,333,377,416	1,384,755,071
合計	1,373,755,071	1,425,132,726

【租稅體系】 收益稅(一般收益稅)地稅、營業稅、勤勞所得稅、自由職業稅、(特殊收益稅) 出產糧石稅、鑛業稅、木稅、禁煙特稅、雜稅
消費稅消費稅酒稅、捲菸稅、菸稅、三種統稅(專賣) 塩、火柴、阿片、煤油類
交通稅、契稅、登錄稅、印花稅



略史

三皇五帝、堯舜二帝の傳説時代を経て禹が舜の禪りを承けて天子の位に即き國を夏と號し、其子啓が立つに及んで天子世襲の風を生じたと云はれてゐるが、爾後四千有餘年の間、漢滿蒙等を中心に各民族が立ちては亡び、亡びては立ち、此の間しばしば儒家の理想たる聖賢政治の理想的君主が現はれ、或は暴虐無道極りなき帝王も現はれて、今日の中華民國に至るまで其の歴史は常に中原の爭鬪に終始してゐた。然し支那文化の推進力は常に漢民族に握られ、邊境より興つた民族は悉く漢族に同化されるに至つたものである。
今有史以來興亡國家の存續年數を一瞥すれば左表の通りである。

夏	前二五〇〇年頃	約四百年間
殷	前一〇〇〇年頃	約六百年間

周	前四六〇年頃	約八百年間
春秋・戰國	前一〇〇年頃	約五百年間
秦	四四〇年	約十五年間
漢	四〇〇年	約四百年間
三國	八八〇年	約六十年間
晉	九四〇年	約五十年間
南北朝	一〇九九年	約五十年間
隋	一〇九九年	約三十年間
唐	一〇九九年	約二百年間
五代	一〇九九年	約四十年間
宋	一〇九九年	約三百年間
元	一〇九九年	約九十年間
明	一〇九九年	約二百年間
清	一〇九九年	約二百年間
中華民國	一〇九九年	約二十六年間

境域

大體に於て支那の面積は一千萬方呎前後と考へることが出來、また其人口は四億餘とみられ、日本の十五倍もある廣大な地域で、ヨーロッパ州全面積に匹敵する。
【位置】 東は東經百二十三度内外に

【北支の地勢】 支那西部の山西、陝西、蒙疆地帯が高地で、黃河流域にある山東、河南と白水系の流域にある河北の三省は平野である。山の多いのは山西、陝西と平漢線以西、蒙疆南部と山東の一部である。蒙疆地域の中部以北は高原地帯をなし察哈爾、錫林郭爾盟地域は南に分水嶺を持ち北方に傾斜してゐる。随つて北支は東南の四分の一が平野で他は高原と山地だと云へる。
三海岸線中渤海沿岸は灣曲に乏しく、その全部が黃河、白河の沖積低地より成り、海岸は泥砂の關係で平砂灘一の狀を呈してゐる。又山東海岸は海岸山脈が海に直面して屈折に富み、膠州灣の如きはその代表的なるもので嶮崖相集る状態にあり、江蘇海岸は灣の曲折は乏しいが海底淺淺で所々に大砂洲を有してゐる。
北支の水系は大部分黃河の流域に屬し揚子江と共に支那の二大水系をなしてゐる。

氣象

【北支の氣候】 一帶に乾燥して氣温は大陸的に激變し、朔北の烈風時に砂塵を捲いて天日ために暗しの言を生み、所謂黄塵萬丈の光景を呈すること稀くない。然し西部高原地帯と中原平野では氣候上相當の差違あり、概して三寒四溫の大陸風であるから、寒暑何れの場合も比較的凌ぎ易い。冬の季節は割合に長く、八、九月頃から翌年の四、五月頃までは乾期に屬し、六、七月は雨期である。この季節には黄河が大氾濫することあり、この雨季以外では一、二月頃よく雨が降る。

【中支の氣候】 やはり地域甚大で一概に云ふは困難であるが、大部分が所謂揚子江型と云つて多雨帶に屬してゐる。支那文明が黄河に發して揚子江に至つてゐることを思ふ時、揚子江によつて代表される中支那の氣候が他の諸地方に比して温順なることが證明出来る。揚子江を上、中、下流の三つに分けて述べれば大體次の如くである。

【南支の氣候】 香港は沿海北部と嶺南地帯の中間にあり亞熱帶的な南支氣候を代表するものと云へる。然し廣大な地域であるから南支全體から見た場合その地方々々によつて非常な相違がある。例へば西南の山岳地方は山脈によつて氣候が調節されるので、雲南省の低地は炎熱極くが如きでありながら、省城昆明は氣候極めて良好で四時春の如しと云つた状態である。下つて廣東、廣西に至ると冬期は五十度から降ること稀で天氣晴朗であるが夏期に至れば急騰する。それでみて廣西の北部山岳地帯は冬期凛烈なる寒氣が襲つて時には降雪をみる。かうした南支の氣候を決定するのは緯度の關係は勿論であるが大體季節風の影響であり殊に南西季節風の影響する度が大い。

各地各月平均氣温表 (攝氏)

Table with columns for months (January to December) and average temperatures for various cities like Beijing, Tianjin, etc.

Table showing annual precipitation and its ratio to monthly precipitation for various cities like Beijing, Tianjin, etc.

生物

【北支の動物】 北支は動物地理學上中支と共にウォレス A.R. Wallace の分類に従へば舊北區に屬してゐる。舊北區は北米の新地帯に對するものでヨーロッパ全土、北回歸線以北のアフリカ及びアラビヤ、アジア大陸(印度、ビルマ、シヤム、東南支那を除く)、日本(琉球、臺灣を除く)を含む廣大な地域で此の地帯に分布する動物のうち特に北支那の長城に沿ふ各省及び蒙疆地

Table with columns for cities and their annual precipitation amounts.

Table showing monthly precipitation and its ratio to annual precipitation for various cities.

これ等種族であり、多くは漢族に同化された。

【漢族の同化力】漢民族の最も著しい特色は、他の強大なる民族から時に武力を以て徹底的に征服せらるゝことがあつても、彼等は常に文化と經濟とを以て征服者を征服同化して行くことである。

抑も漢民族の住地たる支那本土の北部は彼の廣漠たる滿洲、蒙古、新疆及び中央アジアの大草原であつた。初めこの地方に住んで遊牧をこととしてゐた悍ましい民族が、氣候的時變等のために生活に苦み或は強き酋長を得て奪掠を擅にするが如き際に、一度鞭を擧げて南下すれば向ふところ敵なく萬里の長城も一朝にして奪取せられ、黄河流域の豊沃な平原は忽ちにしてこれ等闖入者に占據せられ、酋長はこゝに國を建て、或は「元」と號し或は「清」と號する。その従者は周圍の綠野千里の間に耕耘する漢人農業者の安定な生活を羨み、水草を追うて移住した過去の不安定な生活を脱してこゝに農業生活者と化する。彼等は悍ましい文化が何等の文化を持たない。一度漢族の文化に接し農耕の法を授けられるに及んでは、勇敢なる征服者は忽ちにして漢文明の心酔者となり二代、三代と年處を経るに従つて風俗、習慣、血統等悉く漢民族に没入して

闖入者たることも忘れ、祖先傳來の漢民族を以て自ら許すに至るのである。

最近の例を以てすれば滿洲族は數百萬の人数を以て三億餘の漢民族を殆ど三百年間も統御したけれども、漢民族は歴史の一場面に生彩を放つが如き事實なくして、靜かに、絶えず、營々として山東、河北方面から滿洲に入り清朝の倒れた時には既に滿洲は明かに漢人種のものとなつてゐる。即ち當時滿洲の住民一千六百餘萬人中、滿洲族はその一、二割を數へられるに過ぎない状態であつた。それ故他の蒙古にせよ、新疆にせよ、彼等にとつてよりよき生活を營まれ得る處で交通の便のある處ならば、何處にでも往けないところはなかつたのである。

【漢族の發展力】何故に彼等は斯くも發展力が強いのか、その原因は種々あらうが、その第一は身體が強健で寒暑何れの氣候にもよく適應することである。

その第二は廣漠なる其天地から養はれたことと考へられるが彼等には國家とか、國境とかの觀念が海に圍まれてゐる日本人などに比較して甚だ薄弱なやうである。涯しも知れぬ大平原に住む彼等は已れの住む所を以て中華と考へて居り、到る處が何れもその郷國であると考へてゐるやうである。

それ故に山東や東支那のやうに人口の密度が多く生活が困難になれば、相率して滿洲や蒙古や諸外國に移民を企てる。而も海外に於ける政治的、社會的壓迫に堪へる力が強いので到るところに移民として成功してゐる。

然し一方から云へば衛生思想の發達しないこと、勞銀が廉くその生活程度が低いこと、移民先の風習に同化されないこと等の理由から嘗て盛んに移民した濠洲、南北兩米、南阿等では移民を拒絶されてゐる。

然し熱帯地方で白人の移住に適しないやうな處では盛んに活躍し、その海外にあるものは數百萬或は千數百萬人と稱へられてゐる。殊に南支那の福州、厦門、汕頭、廣東等から年々出る華僑は盛んにインドシナ半島、マレー諸島、比島等に移民しシヤム、交趾支那等の米作地においては懶惰な土人に代つて農耕に従ひ、マレー聯邦に於てはゴムの栽培に、錫鑛山に、最も能率を擧げて勞働してゐる。

彼等は又頗る商利に長じてゐるのでシンガポールを始め、サイゴン米の集散地シヨロン、さては砂糖生産の豊かなジャバに於て頗る優越な地歩を占め、その經濟的勢力は各方面に亘つて抜く可らざるものがある。

【漢族の長所】漢民族程暑さ寒さに強い民族は少い。山東苦力の滿洲に出稼ぎするものが嘗ては黒龍江を渡つてシベリヤに行きその嚴寒と戦つてゐる者が多かつたと共に、スマトラ、ボルネオ等の赤道直下で攻取として働いてゐる者も亦甚だ多い。これは専らその體質が頑健なるためであらうと考へられる。七、八月の中南支の都會は正午頃から百度を越え、それが夜の十時を過ぎなければ冷涼を覺えない。歐米人も日本人も皆汗を流して酷暑に苦しみ、夕方からは自動車を驅り然らざるものは人力車により江岸を往復して涼を入れてゐる。ところが車上の客は弱り切つてゐるのに、これを乗せて走る支那人は寧ろ疾走して尙餘裕があるのである。頭健はかゝる勞働者階級のみかと云ふに決してさうでなく、上流階級のものも驚く可き健康を保有してゐる。

又忍耐力強く勤勉で勞働を厭はない。上海や大連の埠頭に働く苦力は四五十貫もある荷物を運搬して苦しうな顔もしない。轎夫の青い顔をし瘠せ衰へたやうに見えるものでも一度客を得れば一日に十餘里を行くと云ふやうなもの一つである。

【漢族の短所】然るにこれ等の長所を有する漢民族の中國が今日まで何故に國家として頗る不振を極め、國內は争鬭に次ぐ争鬭を以てしてゐたか、その原因も亦種々あらうけれども先づその最とすべきは彼等が國家的の觀念が乏しく、且つ利己的であることであらう。その因つて來るところも亦一、二にして止まらないであらうけれども、廣漠無涯にして國境、國家等の觀念を明かにすることの出来ないのもその一つであらうし、歴代の惡政が國家、領土を一の搾取機關と見るに到らしめ國家の恩恵を認める等のなかつたのもその一つであらう。

とまれ彼等が一國家として團結する力の弱いことは四億餘の人口を以つてして尙今日の如く世界政局の上に重きをなさなかつた理由であらうが、支那事變を契機とする新政權の成立は東方道徳の眞義發揚により近代國家としての體勢を整へつゝあり隣邦日本の共助を得て茲に劃期的な輝かしい將來に向つてスタートしたのである。

○滿洲族

一名ツングース族とも稱し二百萬乃至五百萬の人口を有する。古の金即ち女眞の同族であり三百年前清朝を興したのも亦この民族である。

明代には吉林、黒龍江(舊)の兩省、遼寧省(奉天、安東、通化)の東北部に住したが清の勃興と共に多く支那本部に入り漢族と

同化して殆ど自己の言語すら忘失するに至つた。滿洲八旗と云ふのは清朝の時滿洲族に男子が生れると八旗の兵籍に入れられ、丁年に及んで兵役に服し八旗兵となつたもので北京その他の主要都會に配置され守備に當つた。現在では殆ど漢民族に同化せられ、その純粹なものは滿洲の東北部に至つて之を見ることが出来るのみである。

○蒙古族

往時は黒龍江の上流地方に住み、遼や金を服屬して居つたが成吉思汗の起るに及んで遂に世界に名を轟かすに至つた。その住地は現時内外蒙古は勿論、廣く他地にも及んで人口大約二百萬と推せられるが、昔時は比較的狭小な地域に限られ成吉思汗勃興以前には寧ろトルコ族の住地であつたのである。

大別して東蒙古人と西蒙古人とに分ち前者は東部蒙古に住んで通常蒙古人と稱せられ、カルカ人も稱し成吉思汗も亦この族中から出た。今尙遊牧の民が多く移動住宅包に住む。東部内蒙古附近の蒙古人は漢民族化して半農半牧の生活を營んでゐる。

後者は衛拉特、瓦刺等の名を以て東洋史に散見するものでカルマク人も稱せられる。西蒙古から新疆省の北部に住し一部青

海にも及んでゐる。生活状態は前者と異らぬが言語が異つてゐる。別に烏梁海族と云ふものあり蒙古の西北部唐努烏梁海地方に住み最近ソヴェートの勢力範囲である。他にブリヤト族があるがこれは滿洲東北部に住んでゐる。

○苗 族

支那の先住民族であつて漢民族に追はれて西南の山中に連れ現在は主として貴州省を本據とし雲南にも少くない。大和民族に追はれたアイヌと類似した關係にある。多く農業を営み土地に依つては牧畜をも行つてゐる。嘗ては盛んに漢民族に抵抗したが今は従順である。

○西 藏 族

この種族は現今では多く農牧業に従ひ文化の程度は甚だ低い。農業者は土または石をもつて平屋根の家を造り大麥の煎餅を常食としてゐる。牧畜業者はヤク、羊等を飼養しヤクの毛で織つた黒色の天幕に住み四季によつて山地を上下して遊牧してゐる。ヤクは牛と羊との中間にある動物で駄用に用ゐる外乳と肉とは食用とし、毛は織物として鑿價がある。彼等の風俗中特記すべきは貧民階級における多夫一妻の奇風であり富

者はこれに反して一夫多妻のものが少くない。

支那の西南部に住む西藏族は約二百萬と推定せられ古代の氏羌、唐代の吐蕃、宋代の西夏等史上に重要な位置を占めたものの後裔であつて一般に熱心に喇嘛教を信ずる。

○トルコ族

東洋史上に匈奴、羯、柔然、突厥、回紇、結骨など種々の名稱を以て現れた諸族は大體に於てトルコ族であつたらうと云はれてゐる。

古人の「紫髯綠眼胡人」も亦この種族を指すものである。支那本部に住するもの少なくこれ等は殆ど漢族化してゐる。纏頭回と稱するのはカシガル人であつて、頭部に布を捲きつけた回子の義である。天山南路(新疆)に最も多く職業の範圍も廣く回教を奉じ純然のトルコ語を用ひ支那に於けるトルコ族の最も開化したものである。

キルギス族はまた歴史上著名なものであり天山地方に住む。漢回と稱するのは甘肅、陝西等支那本部に住するもので漢族化してゐる。その他ロプル湖附近に住するものもあるが人口は極めて少ない。

【省別混血状態】 支那の人口は複雑

貴州省 モンクメイル、チベットビルマ人、蒙古人
江西省 シヤン、モンクメイル、蒙古人
廣東省 シヤン、モンクメイル、蒙古人
廣西省 シヤン、モンクメイル、チベットビルマ人
四川省 シヤン、モンクメイル、チベットビルマ人
雲南省 シヤン、モンクメイル、チベットビルマ人、蒙古人、ネグリト(矮小種族)
以上を要約するに現代支那人は廣頭狹鼻の古代支那人、狹頭狹鼻のツングース、稍狭き廣頭狹鼻のシヤン、狭頭廣鼻のモンクメイル及びチベットビルマ人等の混血によつて複雑な體型を形成し、それ等の各々の中心地は古代支那人は東部支那、ツングースは北部、シヤンは南西部、モンクメイルは南部、チベットビルマ人は西部、それに北部のシユンヌ、全部に亘る蒙古人等の血が混り合つて今日の支那人の種族的構成が出来上つてゐるものと云へやう。

政 治

民國臨時政府

【臨時政府の成立】 新政權樹立の動機は河南省民代表三千名、昭和十二年十二月三日、彰德に於て聯合大會を開催した時に端を發し、これに倂して各地の治安維持會及

び自治政府が一勢に新政權樹立の要望を明白にしたのに始まり、多年の黨治下に民衆と辛苦を共にしてゐた北支の長老政治家は驅起して同年十二月十四日大總統府の居仁堂に於て嚴肅盛大なる新政權成立の式典を擧げたのである。

新生した中華民國臨時政府は議政委員長湯爾和、行政委員長王克敏、司法委員長董康諸氏の連名による友邦日本國民に對するメッセージにおいて、

「民主國家を恢復し黨治を芟除して共產主義を絕對に排撃し、東亞の道義を發揚しその結實を圖る決心」を表明し親日の手を差し延べた。

【施政方針】 政府の重要人事を發令し陣容を整備した中華民國臨時政府は民國二十七年の新春と共に輝かしい建設の歩武を進めたが、各般に亘る建設プログラムの大綱を擧げると左の如くであり、爾來軍部其他と協同し邊境宣撫工作と相俟つて着々實績を擧げ正式政府への移行を進めつつある。

一、教育その他
教育、文化、社會施設の普及徹底による文盲及び貧民の救済、赤化並に排外思想の廢絶を期し、則共黨の目的を達成すると共に新民主主義教育思想の普及を圖り法院、監獄、その他司法制度を改善整備し、將來の治外法權撤廢に備へる。
二、地方政權の接收合流

な體型の分布をみてゐるのであるが、主として比較的純粹であつた古代支那人に北方、西北方及び南方異民族の混血のためである。古代支那人は稍南方に住し後に北方にまで分布した。そして紀元初年頃から後代まで長く引續いて北方の萬里の長城に沿つてシユンヌ、ツングース、チアン等の諸種族と混血し紀元四、五世紀頃には可成りの變化を來した。又南方に於ても同様四、五世紀までに已にシヤン、モンクメイル、チベットビルマ人と混血が行はれてゐた。尙蒙古人との混血は遠く揚子江の南方にまで及んでゐる。

現代支那人は古代支那人に如何なる種族の血が混じたかを各省別に推定すると凡そ次の如くであるとなしてゐる。

- 河北省 朝鮮人、シユンヌ、ツングース、蒙古人、モンクメイル
- 山東省 ツングース、蒙古人
- 陝西省 チアン、シユンヌ、ツングース、蒙古人、モンクメイル
- 甘肅省 チアン、シユンヌ、ツングース、蒙古人
- 河南省 ツングース、蒙古人、モンクメイル
- 江蘇省 シヤン、モンクメイル
- 浙江省 シヤン、モンクメイル
- 湖北省 シヤン、モンクメイル、ツングース、蒙古人
- 湖南省 シヤン、モンクメイル、蒙古人

冀東防共自治政府の合流を始め地方政權或は自治政府の合流を期す。即ち河南省自治政府、山西省臨時政府、雲南省臨時政府、山東省臨時政府の合流は勿論中支政權とも極めて緊密な聯絡を圖り治安の維持及び民生の向上に協力する。

三、正式政府への移行

臨時政府は各般に亘る治績擧り、内容實質共に充實整備した際には國家の機構に飛躍的革新を加へ正式政府に轉換する大木を決定してゐる。

四、交通、通信機關の整備
鐵道、電信、電話の整備は治安と密接な關係にあり政府としては各鐵路局その他の諸機關を銳意督勵して可及的速かな復舊を圖る、一方根本的整備改善の具體的方策を決定する。

五、災區の救済事業

農村經濟の更生と治安の回復は新政府の最も肝腦を碎いてゐるところであるが、これと密接な關係ある災區救済事業は最大の努力を傾注してゐる。即ち賑災部が中心となつて應急及び根本二様の對策を立案、根本對策としては水利事業及び土木事業による民生の福利増進を圖る可く大規模の工事を起し、今や建設の眞只中で相當の成果を期待されてゐる。

六、治安維持機關の充實
治安部では敗殘兵の宣撫と教化に乗り出し更に地方政權と聯合協力して不良分子の掃蕩を圖り、又地方警備機關の整備に全力を傾倒し警察機關、保甲團、保安隊等の組織を強化擴充して恒常的治安の確保に當る。

七、經濟産業開發

産業の開發と經濟的諸建設を全班的に展開し各部門の統制ある開發を行ふため中樞機關として日支經濟協會の機構下に鐵道、港灣、鑛山、電氣、電氣等諸般の重要産業機關が統制運営される段取りとなる、日

本の對支國策を遂行すべき北支開發會社の活動と相俟つて劇的飛躍を行ふ。

八、金融機構の整備
疲弊した農村經濟と産業開發のための金融機構の整備は急務の急を要する問題として第一位にあげられてゐるが、中國聯合準備銀行の設立により既に通貨の統一を了し諸事順調に進捗してゐる。

【組織】 中華民國臨時政府の根本法である議政、行政、司法の三委員會の組織大綱、行政部、治安部、教育部、賑災部等各部會の組織大綱は昭和十二年十二月三十日議政委員會に於て正式に決定し、翌年一月一日附を以て公布、即日實施すると共に各委員、部長、局長その他首腦部も夫々正式に就任し、新政府の基礎は確立されるに至つた。

その結果政府は一月四日の政務開始と共に各組織の大綱を發表し更にこれに基いて法令を發布し内治、外交、財政、産業、教育、交通等諸般の施政を實行に移し、中華民國更生の巨歩を進めてゐる。

【新政府の陣容】

- 行政部 王克敏
- 治安部 齊燮元
- 司法部 朱霽
- 教育部 王寵惠
- 財政部 王寵惠
- 賑災部 汪兆銘
- 時務部 唐紹儀
- 環境部 唐紹儀

民國維新政府

【維新政府成立】 支那事變が國民黨の誤

つた政策によつて發生し多數の良民が塗炭の苦しみを嘗めるに至つたため、かねての反感が一時に爆發して「打倒國民黨」「打倒南京政府」の聲が街頭に高く叫ばれるに至つた。而して國民政府を對手としない治安維持會等々の團體が各地に成立し、國民黨、共產黨を排撃して有力にして善政を布く政權の樹立が國民の聲として要望され民國二十七年三月二十八日南京に中華民國維新政府が成立されたのである。

は合議分擔の形式を探り、我が國の總理大臣に該當する最上級者の規定はないが、この點も南北相類似し行政院長が代理總理のやうな役割を引受けるもののやうである。

- 行政院長 梁鴻志
- 立法院長 溫宗堯
- 外交部長 陳銘
- 內政部長 陳銘
- 綏靖部長 任援
- 財政部長 任援
- 交通部長 王江
- 實業部長 王江
- 教育部長 王江
- 司法行政 胡適

【維新政府政綱】
一、三權分立の憲政制度を實行し、一黨專制を消滅す。
二、極力共產主義を防滅し、赤化し危険を東亞に及びしめず、以て國本を定め亂源を消す。
三、外交は平等を原則とし、國權を喪失せざることを主旨とし、世界の趨勢に應じて東洋平和を謀り、諸盟各國との永久的睦誼を確保す。
四、各省災區の難民は原地歸還の方法を講じ、本來の業務に服せしむ。戰場とならざりし地方に於ても保安組織を設け、匪賊討伐地方肅清を圖る。
五、失業救済、資源開發、工業振興、農産物改善等は國家指導の下に廣く國外の資本を仰ぎ梅方友邦との經濟提携を圖る。
六、既成の商工業及び金融組織を助成して穩健なる發達を謀り國富を増加す。
七、中國固有の道德文化に基き世界の科學知識を吸收し以て理智精神、體力強健の國民を養成し、從來の矯激なる教育、淺薄なる學識は根本的に廓清す。
八、財政は收支の福利を増進す、從前不念の事業、苛酷なる課税にして人民に害あるものは總てこれを除去す。
九、人材を登用し、學識あるものをして十分に國家の爲に力を盡さしめ、言論を公開し、國人をして隨時政治を批評せしむ。
十、官吏の綱紀紊亂を嚴懲、賞罰を勵行、行政機構を改革し以て吏員を肅正す。

中華民國政府
聯合委員會

【政策及組織】 昭和十三年九月二十二日北京に於て臨時政府側並維新政府側の各委員出席して本委員會の成立をみた。その權限及び政策は大體次の通りである。

一、中支の幣制確立。これに伴ふ北中支の幣制調整。

- 二、税制改革、輸出制度の制限其他財政政策の確立、輸出入税率其他關稅政策の合理的是正。
- 三、治安確立の爲軍事共同聯絡。
- 四、交通路の調整通信郵務の統制。
- 五、蔣政權自滅的外交に對し日滿支三國提携を基調とする新外交政策の強化。
- 六、國民教育の根本改革、教育行政の統一等であるが同委員會の願望は

【汪精衛の重慶脱出、吳佩孚躍起】
汪精衛は昭和十三年十二月十九日空路重慶を脱出昆明經由ハノイに到着某外人邸に落着いた。之を知つた國民政府部内、特に蔣介石の狼狽はその極に達したが、十二月三十日汪は隠れ家に於て東亞永遠の平和確立と中國救國の精神に則り、速かに日本政府の雅量と矜持に信頼して和を講ずべき第一次聲明通電を發し、超えて昭和十四年一月八日更に第二次對蔣通電を發し和平工作に對する重慶會議の内容、國民政府の共產派跳梁の事實を暴露し、自己の公明なるを

天下に表明するの舉に出でたものである。蔣介石は三月二十一日汪の腹心曾仲鳴を暗殺せしめたが、汪は同志を失つて益々和平救國の決意固く、三月二十八日更に第三次聲明を發し、抗戰の暴舉が遂には中國を亡し、民衆を塗炭の苦みの中に投ずるものなることを言々情をつくし理を説いて四億民衆に對し眞實に自らの所信を披歴する所あつた。

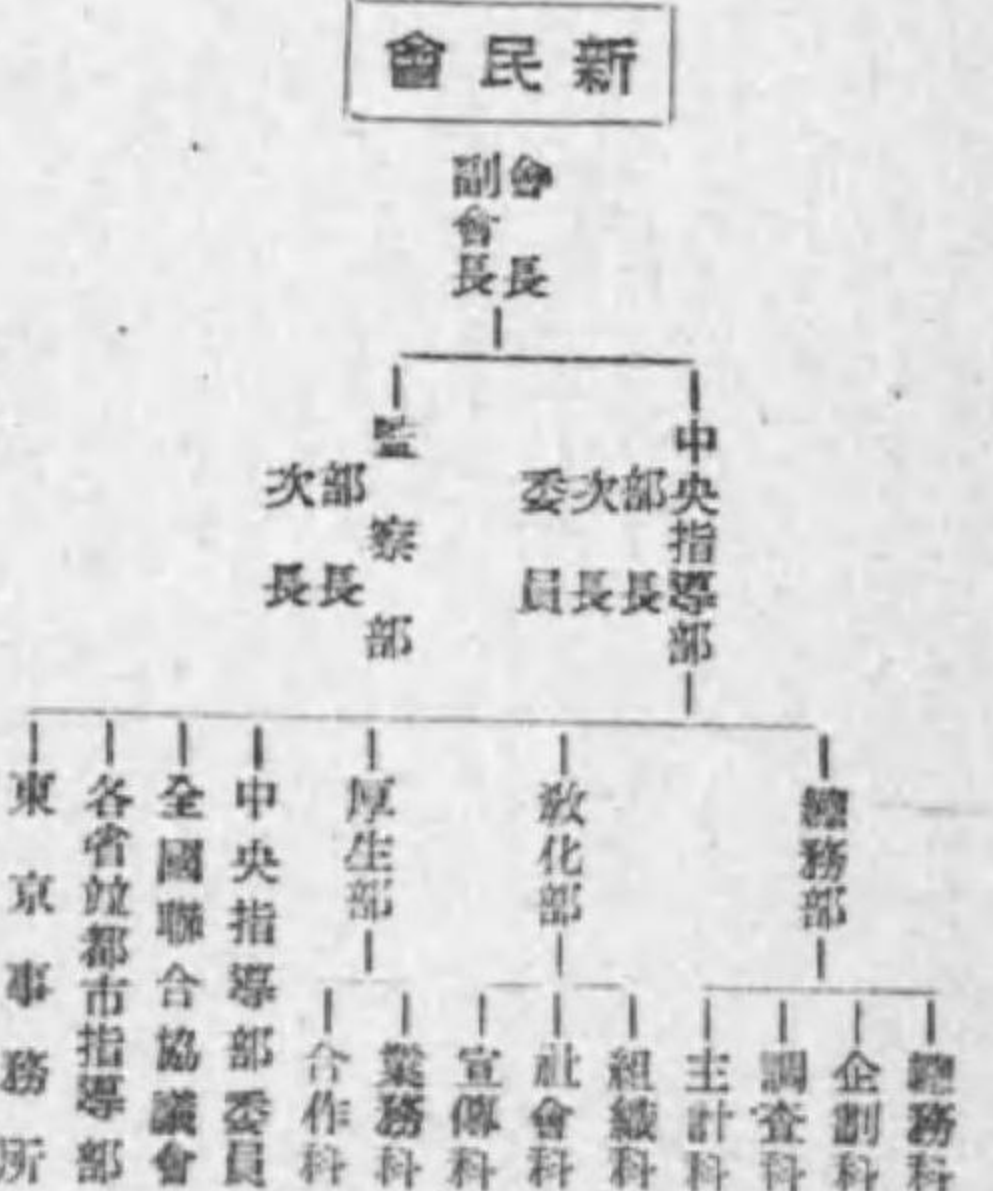
新 民 會

昭和十二年十二月北京に中華民國臨時政

府の正式成立を見るや、續いて中華民國新
民會が結成された、新民會は新民主義を奉
じ政府と表裏一體となり、中國に於ける唯
一無二の組織的民衆團體として日滿支三國
の共榮を顯現し、掃共滅黨の徹底と世界平
和の確保を目的とし新中國の母體をなすも
のと謂ひ得るのである。

中華民國人及び新民會の目的を達成せん
とする熱意に燃ゆる日滿人を以て構成分子
とし會長には政府首班者を推戴し、民衆の
教化と指導の團體として政府の施政を圓滑
ならしむるを本來の使命とする、從つて活
動の對象を農村大衆に置き下層社會より安
居樂業の社會を築き上げんとするもので同
會は「大學」卷頭の第一ページにある「大學
の道は徳を明かにするにあり民を新にする
にあり」の新民の二字をとつて以てその名
稱とした誠に意義深いものである。

當面の任務としては新政府統治地域に於
ける民衆宣撫、民心作興、民生再建に協力
指導を與へることにあり、從つて地域的に
は鐵道沿線地區の確保、部門的には國共兩
黨に對する理論闘争の展開、鄉村青年の尖
銳反共戰士としての訓練、農村經濟の應急
的救済、合作社、互助社の運営と云ふ方面
に力が注がれ、最近に於ける業務実績をみ
るに登記會員數三、〇八一人、供給延人員約
六七、〇〇〇人となつてゐる。



國民政府

蔣の政治組織は國民黨治であるから未だ
依然として全國的な國民黨の組織である。
國民黨の最高機關は國民黨全國代表大會
を二年に一回開くことになつて居り、此大
會で中央執行委員が選ばれ中央執行委員會
が組織されるがそれも從來は殆ど蔣介石の
勢力下であり、それから九人の常務委員が
選ばれるがそれも蔣介石が中心である。こ
の常務委員の下に以前は民衆運動のため農
民、勞働、商民、青年(學生)、婦女、海外
等の諸部を設け、共產黨がこれに據つて大
いに活躍し共產黨が逐出された後には國民

黨の左派がこれに據つてゐたが、その後組
織、宣傳、海外の三つを離し他は民衆運動
指導委員會の下に纏め各主任には蔣の腹心
を以つてした。

政府組織は最高幹部に政府委員があり蔣
介石以下多くはその徒黨が固めてゐる。實
行機關としては所謂五院制度で立法、司法、
行政、考試、監察の各院があるが立法院も
他の國の議會と異つて何等立法上の獨立權
はなく日本法制局のやうなものである。司
法院は司法省に同じだし考試院と監察院は
支那に昔からあつた特殊のもので考試院は
官吏其他の登用試験をやり監察院は官吏の
非違を監察し悪いのは彈劾する。そこで實
際に行政をやつてゐるのは行政院であつて
日本の内閣に當る。行政院には日本の省に
當る部と云ふのがある。内政、外交、財政、
軍政、海軍、實業、教育、交通、鐵道の各
部があるがその各部長には蔣の一族や徒黨
で占めてゐる。要するに蔣介石は國民黨部
の主腦者にして黨總裁とも云ふ可き地位に
あり黨部及び政府をその一黨で堅め全く獨
裁的地位にあつたのである。

然るに支那事變勃發による皇軍の神速果
敢なる行動と相俟つて各地に新政權は樹立
せられ、今では次第に西部に逐ひ詰められ
目下は僅かに成都重慶、昆明の線を守す

るに過ぎず。曩に宿老汪兆銘の離脱あり、
今又歐洲戰爭勃發により英佛よりの軍事的
援助も頼み少く内は黨共互に相反して、全
支に漲る反蔣和平招來並正統國民黨結成の
聲の内に最後のあがきを續けてゐる。

産業

支那は産業から見れば完全な農業國であ
る。尤も西部高地の半乾燥地方には牧畜を
主たる業としてゐる住民もあるが、近代國
家の特徴とも云ふべき工業殊に重工業の發
達は未だ甚だ幼稚な段階にとどまつて居
り、全體としてみる支那の産業發達は近代
國家の水準に達してゐない。

【産業不振の原因】 由來支那の資源に對
しては世界各國共異常な關心を以てこれを
注目し、支那自身も亦地大物博を以て任じ
て居り、西洋諸國の對支交通商要望は遂に深
刻なる利權獲得競争にまで發展したのであ
る。然るに近年支那に於ける多數民衆が極
端なる貧窮狀況に陥り而も近き將來に於て
これが恢復の期待を持ち得ざる有様であつ
たのが事變前までの状態であつた。即ち全
人口の約八割を占むる農民の徹底的疲弊を
始めとし、商工業も著しい不振に陥り土地

の渺からぬ面積がサバイエート區域に變じ
國內には無数の貧民が充溢するに至つた。
而も貿易上に於て農業國でありながら食糧
品の輸入が毎年莫大な額に上り、また工業
品の輸入も依然多く一方輸出方面に於ても
連年輸出市場の閉塞に悩まされるに至つてゐ
たのである。

凡そ支那は古來極端なる重農主義を採用
し農を以て立國の礎となし來つた國で、今
日でも支那經濟社會全般の基底的要素をな
してゐるのである。而も人口は多いとは云
へ未だその面積に比し必ずしも過剰の域に
達しないにも拘らず、國民の主要食糧品た
る米及び麥を始めとし砂糖その他食糧品の
供給を外國に仰いでゐるのみならず、棉花、
石炭及び石油その他の原料産品をも外國
より輸入してゐる状態である。

豐富なる資源を有する支那の産業が今日
まで發達しなかつた原因は幾多存するであ
らうが、今これを概括すれば第一に舊國家
の施政宜しきを得ず未だ中央集權的體制を
採り得ず政治的に紊亂してゐたこと、第二
に交通發達せざるため各地の經濟的發達が
阻害されてゐた許りでなく、地方の發達は
その程度を異にして孤立性を維持してゐた
こと、第三に經濟組織上に缺陷の多いこと
等がその主なる原因をなしてゐたものと云

ふことが出来る。

【今後の問題】 支那の如き農業國では大
體農業を盛にし農民大衆の生計を向上させ
るのは勿論緊要のことだが、漸次資本の蓄
積を計つて支那土着工業の勃興を助成する
の必要がある。これによつて又農業にも國
内市場を確保する結果となり惹いては日本
が、外國から搾取されない土着工業の興る
を援助して、從來ソ聯の赤化工作や或は英
國の搾取的植民的政策的立場から行はれて
來た階段とは全く違つた新しい民族産業勃
興の指導的立場が生れてくるのである。

一口に支那と云つても北支と中支とは經
濟工作上の見地からは一應別々に考へねば
ならないが、北支は天然資源の關係から云
へば割合に鑛業資源が豊富であり、中支は
農業資源が多い。北支はその上地理的關係
もあつて日本と提携してプロツクの〇〇
工作を助成して發展せしめて行く可能性が
多く、重工業や化學工業を中心とした大産
業部門が盛になるものと思はれる。

中支は貿易の中心地でもあり紡績とか、
蠶絲業、製粉、雜貨業とか云ふ輕工業方面
が盛になることが豫想される。しかし中支
にも鐵礦石が相當豊富で又軍需的な輕金屬
類もかなり多量に埋藏されて居りその上揚
子江岸にあつて船便の都合よくかうした鑛

工業も勃興する可能性も亦充分である。然しさう云ふ産業開發の前に復興の第一着手として通貨と金融面に於てこれまでのやうに、英米の資本に依存しない新しい親目的な獨立の幣制と金融機構を代表する機關として既に北京に本據を置く中國聯合準備銀行の開設に鑑ぎ上海には華興商業銀行の設立を見、急速度に幣制統一工作は進みつつある。

産業開發に對しても金融的援助機關が必要とされるのであるが、今北支と中支とに夫々産業開發及び振興の兩國策會社が登場して、幾多の子會社も動員し具體的な事業にとりかゝつた。又民間の支那銀行も日本及び外國の銀行も次第に新情勢に順應して夫々積極的に機能を發揮しつつある。

【北支産業三年計畫】北支最高當局では修正日滿産業五ヶ年計畫に合致せしむべく昭和十四年六月を第一年度とする北支生産力擴充産業開發三ヶ年計畫を樹立しこれが實行に邁進することとなつた。本計畫の大綱は資金十四億圓、鐵道は戰前三千七百萬口を五千キロに、港灣戰前七百二十七萬トン吞吐能力を二千五百萬トン吞吐能力に、鐵は鑛石三百萬トン、鉄鐵八十萬トン、鋼材四十萬トン、出炭量三千五百萬トン、石炭液化百萬キロリットル、鹽戰前百十萬ト

ンを二千五百萬トンに、棉花五百萬ピクセルとそれぞれ十六年度末までに生産の擴充をはかるもので、これが實現は日滿を含む新東亞建設の産業的基礎と實力を築くものとして各方面から多大の期待をもつて注目されてゐる。

農業

【耕地・農家】全人口の八〇%が農民で、人口極めて稠密であるために、農法は極度に集約的となり、貧農が大部分である。併し土地の利用は甚だ進み、例の階段耕作や灌漑耕作が比較的發達してゐる。

大體支那の統計は不完全であるが、支那本部だけの耕地は七千萬陌乃至九千萬陌と稱され日本の約十一倍に當る。全面積に對する耕地も一八%乃至二五%位になつて居り日本内地よりも大きいのである。そして最大の耕地は北支那平野、揚子江三角洲、湖廣低地・四川盆地・珠江三角洲等にある。又支那本部の農家戸數は約五千六百萬と見られ、日本内地の十倍に當る。一戸當りの耕地は一、一六陌で日本内地の一、〇六陌よりは少し多いが日本と同じやうに小農で勞力を集約的に用ひる所謂闢農が行はれ

る。【農業不振の原因】農業不振、農村疲弊の原因として次の如きものがあげられてゐる。

- 一、外來的原因 近時支那の農村も自給自足を漸次脱して農産物を商品化した。然るに最近の國際貿易が萎縮したために支那農産物の國際市場も縮小した。而も外國食糧品のダンピング等もあり之等の事情が農村破壊を招來した。
- 二、内在的原因 主要なるものとして次の如きものがある。
- 1 土地の缺乏 人口過剰にして而も地主が土地を壟斷してゐる。
- 2 生産の減退 農具・農法の幼稚と失敗や土地の分散、天災、人禍等がこの原因である。
- 3 金融の枯渴 支那の資本は大都市に集中し、田舎はその便が少く且極めて高利である。
- 4 封建勢力の壓迫、田賦の増徴、地價の低落、土地の合併、農産物價格の人為的操縱等が之である。
- 5 交通設備の貧弱 有無相通じないので一方で供給過剩、價格低下が起つてゐるが、他方では飢饉が生ずること多い。

【支那の農業地域】ウイットフォーゲルに従へば支那本部は次の如き農業地域となる。

- 一、(西部及北部の國境地域)雨量が不充分で荒蕪地、草原となつてゐる所では灌溉によつて小麦、麥作が可能となる。
- 二、(本來の北支那)之は次の二つとなる。

- 1 西部 温帯で雨量は少い。山岳の黄土地は大部分灌溉され得ない。西北部の谷間には冲積土や薄い黄土がある。
- 2 東部 大平野があり灌溉が行はれ小麦、麥が栽培される。
- 3、(中支那) 大平野は冲積土又は黄土で、補足的灌溉が行はれ、米を主産物とする。
- 四、(南支那) 米の二期作が行はれる。
- 五、(西南支那の蠻族諸省) 氣候區々としてゐるが主に温帯的、亞熱帯的である。灌溉を作つて米作が行はれるが農業には殆ど重要ではない。

農産物

氣候の關係で農産にも地方的な相違がある。北支那には高粱、粟、小麦、玉蜀黍、豆類、烟草、棉花等が多く栽培され、中支那では米を第一として棉花、茶、麻、烟草の栽培が行はれ、南支那では茶、甘蔗、柑橘類、バナナ、パイナップル等を産し、養蠶は中南支共に行はれてゐる。

【米】 中南支の氣候は年平均一五度乃至二〇度で、大體一、〇〇〇耗乃至二、〇〇〇耗に及ぶ雨量の季節的分配も比較的平均し、而も中支以南の土壤は河川によつて作られた沖積土壌である爲、四川、湖南、江蘇、湖北、安徽、浙江、廣西の七省には水田が多く、米は支那農産物の首位を占めて

ゐる。米は住民の主食物となつてゐるが、人口の極めて多いこと、從來の政治的不安定、栽培技術の拙劣等のために供給は常に需要を充すに足らず、防穀令を以て輸出を禁じてゐた許りでなくビルマ、佛領の印度支那等から年々輸入を仰いでゐる状態である。米産額の確實な數字を知ることには出來ないが大約六千萬噸と云はれてゐる。

【茶】 製法によつて綠茶、紅茶、磚茶の別あり、輸出は綠茶が最も多く、蘇聯、英佛米等に向けられてゐた。茶は支那輸出品中重要なものの一つをなし、又自國內で消費される額も莫大で、上下の階級を問はず喫茶の習慣あることはその程度日本の比ではない。斯くして到る處の都市には大小の茶館、茶亭が設けられ、茶は支那人生活と離すべからざるものとなつてゐる。

産地は温暖な南東部の丘陵地、殊に浙江、湖南、湖北、福建、江西、安徽、廣東等の諸省に多く、産額は大凡二十五萬噸と推定され世界の首位にありうち約三萬七千噸を輸出してゐた。

【棉花】 東經一〇度から以東北緯二〇度以東に栽培され、江蘇、河北の兩省が主産地で、産額約六十八萬噸乃至八十五萬噸に及び米國、英領印度に次いで世界第三

位を占めてゐる。纖維が短くて良質ではないが、國內に於て多く需要され、日本にも相當額輸出されてゐる。

【粟】 河北・河南・山西等北支諸省に多く産し地方民の主食糧品の一つである。

【玉蜀黍】 河北省を第一とし河南、山東、山西、陝西地方に多く四川省にも作られてゐる。

【高粱】 山東河北等の北支平野に多く産し天津に於て集散されてゐるが、近年滿洲からの輸入額が次第に多くなつてゐる。

【小麦】 夏小麦、冬小麦の二種あり、前者は主に舊綏遠、舊察哈爾、河北省北部等に、後者は山東、河北省南部等より産し、天津に於て取引されるためそこに北支最大の穀物取引市場を作つてゐる。

【大豆】 山東省を第一にして河南、河北等北支平野に多く栽培され、中支の江蘇、安徽の兩省からも少からず産する。滿洲國と共に世界最大産出國の一つであるが輸出能力はない。

【落花生】 廣く各地に栽培されてゐるが殊に山東、河南、廣東及び河北の諸省に多く、食糧用、製油用として國外に輸出される額も尠くない。

【煙草】全國に亘つて栽培されてゐるが、北支では甘肅、河南、山東、中支では安徽、浙江、江西、湖南、湖北、四川、南支では福建、廣東、廣西の諸省が主産地である。

【麻】苧麻(ラミー)、大麻、亞麻等があり、苧麻が最も多く、揚子江の流域を主産地として九江、漢口は共にその輸出港である。

【繭】日本に次いで世界第二位を占め、その推定産額は二十萬噸と云はれる。中でも浙江省最も旺んじて廣東、四川、江蘇の諸省之に次ぎ、浙江、江蘇の繭産額は全支の四割を占めてゐる。殊に兩省境太湖の周圍一帯に行はれ、南京、鎮江、無錫、蘇州、杭州、上海等の製絲、絹織物工業の都市を生ぜしめてゐる。かくて生絲と絹製品は支那の主要輸出品となつてゐる。

【其他農産物】棉實、亞麻仁、菜種、胡麻、蘇子、蕪麻、甘蔗等を多額に産する。

Table with 16 columns for provinces: 新寧, 綏遠, 察哈, 支那本部, 貴州, 雲南, 廣西, 廣東, 福建, 四川, 湖南, 湖北, 江西, 安徽, 浙江, 山東, 山西, 河南, 河北, 山東, 河北.

Table titled '農耕地と農家' with columns for '1918年耕地', '農家', '戸數', '對總人口に對する%', '對面積に對する%', '對面積に對する%'.

農耕地と農家 (下田氏による)

農産物作付面積 (單位千畝、但全土總計のみ千陌下田氏による)

Table with 16 columns for provinces: 合新寧, 綏遠, 察哈, 支那本部, 貴州, 雲南, 廣西, 廣東, 福建, 四川, 湖南, 湖北, 江西, 安徽, 浙江, 山東, 山西, 河南, 河北, 山東, 河北.

林業

西南部の人口稀薄な山地には大森林があるが、人口稠密な地方では森林は極めて少い。殊に北支や蒙古・新疆等には森林をみることに稀であり總じて林業は不振である。

支那の山野も決して昔から樹木が無かつたわけではなく、漢の時代以前には森林制度が整備されてきたと云はれる。併し元來支那人には森林經營の考が無かつた上に、永年惡政の影響で政府の施設殆ど行はれず、自然のままに放置されて居り、其間に濫伐、山火事等が續いたので森林は全く荒廢してしまつたのである。

斯くて今日では中南支の一部を除いては木材の産が少く、所要材は殆ど外材に仰いでゐる。

一般樹木の外支那林産中の特産加工品として次のものが擧げられ薬用、塗染料などに供されてゐる。

- 桐油、五倍子、甘草、大黃、木耳、漆、木蠟、茶油、八角油

都市にして、而も輕工業に限られ重工業は全く未發達である許りでなく之すらも多く外國資本によつて營まれてゐる状態である。

- 一 農業國の常として國民が保守的であること
- 二 政治的不統一と政情不安なること
- 三 國內資本缺如によること
- 四 外資の壓迫あること

【支那工業の特色】(一)工業が都市に集中してゐること、一九三三—一九三四年の統計に従へば、工場法標準に依據する工場二四三五のうち一、二〇〇は上海に集中し、其他は殆ど天津、杭州、青島、無錫、常州、廣東の諸市に集つてゐる。特に上海は工業資本の四〇%、労働者の四三%、生産額の五〇%を占めてゐる。(二)紡績工業が偏重的に發達してゐること、上海の紡績工場は全上海労働者の五五%、生産者の三分の一、使用動力の六六%、資本の四〇%を占めてゐる。(三)中小工業が多いこと、紡績、製粉、造船、製鋼、セメント等を除いては、大體に小規模で、全上海平均で一工場當りの職工は、一九三三、馬力一二三、生産額五八三、七二六弗、資本一五〇、三四八弗である。(四)工場興廢が頻繁なこと、好況等に

は工場が發立されるが、不況になると續々倒潰する。

【支那の工業地域】(一)上海附近、上海、南京、杭州の三角線間は輕工業の重要な地域であり、支那紡績業の三分の二はこゝに集中し、食糧品、化學、煙草工業等の外造船機械の如き重工業も興つてゐる。(二)天津附近、河北省東北部で、開灤炭坑が供給する石炭により、附近にセメント、硝子、紡織、食糧品等の諸工業が興つてゐる。(三)青島附近、紡績製油等の輕工業を主とするが、ドイツの青島經營以來發達し、以後日本によつて培はれたものである。(四)漢口附近、紡績其他輕工業の他金屬製鍊等の重工業があり武漢、萍鄉、長沙の三角點間に行はれる。(五)香港廣東附近、輕工業が各地に行はれてゐる。

【支那工業の將來性】有利な條件として次の如きものが擧げられてゐる。

- 一 豊かな工業原料及動力資源を持つこと
- 二 安價な労働力が豊富なること
- 三 製品の市場たるべき人口が大なること

國民の工業的な訓練と政治の改善と資本の注入と交通の發達を條件として、支那將來の工業は確かに發展の素地を持つてゐる。

ものと結論される。

【在來工業】在來工業は小規模な家内工業として行はれて居り、近年次第に衰亡しつつある。陶器、筆墨、紙、漆器、象牙細工、木細工、石材彫刻、麥桿眞田等の美術的家内工業が之に屬し、尙綿織物、生絲、絹織物業等も古くから行はれてゐるが之も近年機械的生產方法に移りつつある。之等は何れも中南支那に多く行はれてゐる。

【近代工業】一八六〇年代に始まつたもので、殊に最近三十年足らずの間に發達した綿絲紡績を第一とし、金屬加工及び機械製造、煙草、製糖、製粉、製油、化學等の諸工業で、之等は多く外資によつて興り何れも上海、天津、青島、漢口等の海岸又は揚子江岸の大都市に行はれてゐる。

就中紡績業は上海を第一とし、天津、漢口、青島に行はれ、事變前は支那資本によるもの二百九十萬鎊、日本資本に依るもの二百一十萬鎊、英資本に依るもの十九萬鎊計五百二十萬鎊で、鎊數は世界第九位、棉花の消費量は二百三十萬俵で世界第五位を占めて居り、消費對象たる人口の稠密なることによつてその將來は頗る有望である。

商業・金融

【國內商業】個人主義で貨殖の念に富む支那人は商業に甚だ長じてゐる。商業上支那人がよく信用を重んずるのは、同業等の關係で作られた會館とか公所等いふ一種の組合を持つてゐて違反者に對しては嚴罰を加へることにして鞏固な組合を作つてゐるからである。政治的に不安定な境遇にあつた支那人は經濟的にはかかる統制のとれた鞏固な組織を作つてこれに順應してゐる。「地大物博」で各地各様の資源と産物を有し、國內商業は古くから行はれてゐるが、政治組織の不完全と交通不便とは之に對する二大障礙となつてゐる。又各地軍閥は勝手に地方的な通貨を流通させ、度量衡も各地甚だ異つてゐて、この貨幣と度量衡の不統一が更に國內商業に對する障礙となつてゐた。

支那特有の商業機關として左の様なものがある。

買辦 外國商人に備はれる支那商人で外商の店舗内に事務所を有し、外商と支那商との間の取引周旋、仲介業をなし、又雇主のために注文事項を完成し、一切の商行爲を

自己の計算でする請負人のやうな業務に従ふもの。

牙行・行棧とも云はれ一種の仲買商で、客商のために賣買を周旋し、その委託販賣に應じたり客商を宿泊せしめたりする。其他倉庫業、廻漕業、釐金代辦、代金取立、市場代理業等にも従ふ。

客商 一種の行商で郷土産の財貨を携へて他郷に之を買却し、更に郷土の需要品を仕入れてくるものである。

那制度 幫とは同郷者、同業者が團結し、相互の利益を増進するための組合で之に會館と公所とがあり、會館は同郷者、公所は同業者を以て組織されてゐる。

【金融及金融機關】支那は從來世界中で最も通貨の複雑な國で、これがため産業の開發、商業の發達、國家の統一が阻害されること少くなかつた。よつて一九二八年以來銀元(圓又は弗)が本位貨幣と定められ一九三三年以降商取引には元(弗)と單位とする事となつた。併し舊の兩や弗貨は相當に流通して居り、兩には上海兩、天津兩その他百種以上もあり、なほ海關兩も使用されてゐた。弗も孫逸仙弗その他數十種を數へてゐた。支那は世界唯一の銀本位國であり従つて支那の經濟界は銀相場によつて支配されてゐたのであるが、銀相場は近年下落

する一方で特に一九二八年以後は激しかった。然るに一九三四年米國が銀國有法を發表して以來世界の銀相場は奔騰しこれがため最近では支那は銀の國外流出に悩まされ一九三五年四月以來支那の通貨は銀の國外流出によつて殆ど危機に瀕するに至つた。

そこで一九三五年國民政府は幣制の大改革を行ひ、硬貨制度を廢して紙幣本位とした。即ち中央、中國、交通三銀行の發行する銀行券を法貨即ち國幣とし銀貨の使用を禁じた。而してその對外價值は一元を英貨一志二片とし、上記三銀行は無制限に外國爲替の賣買に應ずることとした。この幣制改革は英貨の後援によつて成功したもので、これを契機に英國は金融的に支配するに至つたのである。

然るに今次事變によつて北支、蒙疆、支那の各地區に於て、中國聯合準備銀行、蒙疆銀行、華興商業銀行の新設をみ、夫々新兌換券を發行し可及的速かに舊法幣の回收に努めたることにより舊紙幣は通貨としての價值を殆ど喪失するに至つた。

中國聯合準備銀行 昭和十三年春北京に開業せる特殊銀行であり同行は北支の中央銀行で唯一の發券行である。之によつて日滿北支を含む廣大な地域が圓ブロックとして一元化され、日本の指導の下に遂行され

の北支那經濟建設の基礎が確立されたものである。
蒙疆銀行 蒙疆地區の中央銀行として昭和十二年末成立し、資本金一千二百萬圓、張家口に本店を設け僅か一年足らずにして地域内の舊紙幣と回収した。中國聯合、蒙疆銀行共に發行されてゐる新紙幣は圓と等價である。

華興商業銀行 蔣政權の没落が決定的であるにも拘らず、法幣が依然として通貨戰に牢固たる勢力を持續し、加ふるに輻輳せる中支の經濟情勢に禍され、中支方面に於ける新通貨制度の確立は豫想外に遲延してゐたが、昭和十四年五月資本金五千萬圓全額拂込、本店を上海に置く華興商業銀行の誕生をみた。新設銀行は新紙幣の發行をも司るものであるが法幣萬能の中支幣制に一つの輝しき光を與へ蒙疆北支と格段の惡環境にあるを一まつ克服するものと見てよい。

貿易

外國貿易の少い第一の理由は、大國であるから外國との貿易よりも國內取引の方が尙る重要であり、國內取引額は外國貿易額

の數倍もあると云はれてゐる。第二に生活低度の低い支那人には外國貿易を十分に行ふだけの購買力を持つてゐないからである人口割にすると支那の貿易額は日本の約十分の一に過ぎない状態である。最近支那の經濟界は銀の國外流出のため殆ど恐慌の状態に陥つたと云ふやうな事情で貿易は著しい減退を示したが近頃稍増加してゐる。別表の通り支那貿易が年々入超を示してゐることは、要するに輸出を増大さるべき國內産業が振はれないことを物語るものに他ならない。

支那輸出入貿易額

Table with columns for Year (年次), Import (輸入), Export (輸出), and Total (合計) in thousands of dollars (千元). Data points range from 1931 to 1938.

【一九三八年度外國貿易】 抗日支那の輸血動脈としての南支諸港の活潑なる動きと新興支那諸港が復活更生への過程を歩みつつある事實が一九三八年度の支那外國貿易の特徵である。前者は十月を以て日本軍に占領され、かくし南支諸港を完封されるに至つた。更に之を細述すれば、抗日支那輸血路たる香港、廣東を中心とする南支諸港に於ては、全力を擧げての對外輸出にも拘らず二千餘萬元の入超を示し、中北支に於ても入超は依然たるものであるが、北支六港はその總貿易額に於て遂に中支十六港、南支十八税關を凌駕したことは特に注目すべき現象である。港別にみると、輸出において上海が依然第一位を占め、天津、廣東が之に次ぎ、輸入においても上海、天津、九龍の順位を示してゐた。

對日英米獨三箇年貿易

Table showing trade statistics for Japan, Britain, and the US from 1937 to 1938. Columns include Country (國別), Year (年次), and Trade Type (輸入/輸出/合計).

【昭和十四年度上半期貿易額】 全支上半期貿易を國別に就て見るに輸入に於ては圓ブロック貿易の困難を突破して日本品の躍進著しく遂に米國を抜いて第一位を占めるに至つた。其他増加著しき國は米國及英領印度であるがその一因は龐大な數量に上つた棉花輸入に存するものである。輸出に於て其數量は昨年上半年に比し若干の減少を示し、對日輸出は昨年同期に比し二千萬圓以上の減で輸出國中第四位にある。

昭和十四年度上半期貿易額 (單位百萬圓)
輸入 輸出 合計 入出超
占領地 支那 香港 南洋 入出超

Table showing trade statistics for various regions in China (e.g., 日本, 英國, 香港) for the current and previous periods.

在支邦人二十六萬突破

支那事變開始以來二年半、皇軍の神速な進撃の後を受け同胞の大陸進出は目覚ましいものがあるが、邦人の渡支に對しては我官憲に於て明朗支那建設のため嚴選主義をとつて制限してゐる。然し近年大陸移住の數は夥しき數に上り、昭和十四年秋與亞院が在支連絡部、領事館と連絡調査の結果によれば在支人口は、北支蒙疆、中南支を合せ本邦人二十六萬一千二百十名に上り、支那事變前十二年七月一日の在支居留民八萬六千九百二十三人に比すれば二ヶ年間に約三倍の激増振りである。

この數字は旅行者を除いた定住者であるが、移動の多い大陸邦人人口は之より遙かに大きいことは當然で、内譯は左の如くである。

Table showing the population of Japanese in different regions of China (内地人, 半島人, 臺灣人, 合計).



略史

成吉思汗が大汗(元の太祖)の位に即き世界統一の誓を立てたのは今から七百三十三年前である。爾後拔都、忽必烈、旭烈兀等の遠征により、其版圖はアジア大陸を横斷して東は日本海から西はヨーロッパの東北部に達する空前絶後の大帝國を建設し、アジア民族のために史上不滅の光彩を放つたのであつた。然しながら小數の蒙古民族を以て廣汎な領域を統治するところに無理があり、後明朝の興るや忽ち北に追はれ、清朝の擡頭に會つてこれに歸順した。支那事變直前に於て蒙古民族は露、滿、支三箇國の支配下に分割され滿洲國の治下に入つた者を除いては混沌たる政治、經濟、社會的諸情勢下に彷徨しつゝあつたのである。然るに昭和十二年支那事變の勃發により獨立した三自治政府首腦者が張家口に相會し、茲に蒙疆聯合委員會の結成となり更に昭和十四年九月蒙古聯盟自治政府の成立を

境域・人口

蒙疆地域とは東は滿洲國、西は寧夏省、南は長城線を隔て、陝西、山西、河北の各省に接し、北は遠く戈壁に限られた舊察哈爾省、綏遠省及山西省の北部を加へた所謂内蒙古の大部分を占める廣袤六十萬平方千米の地域を指し、人口約五百五十萬を擁してゐる。

Table with 2 columns: 別 (District) and 人口 (Population). Rows include 察南地域 (300,000), 察北地域 (300,000), 内蒙五盟地域 (2,500,000), and 計 (Total: 3,500,000).

地勢

蒙疆一帯は略々一千米以上の高原を形成し地勢割合に變化少き所であるが今南部京包線一帯の地勢に限りて述べれば大體次の如きものである。鐵道沿線の地勢は大體大同から平地泉の間を最高線として東と西へ漸次に高度を減ずる。この地帯は陰山脈の支脈に屬する部分であつて、平地泉の西約四十千米の十八臺驛は海拔千五百七十九米で本線に於ける最高の地點となつてゐる。大同以東は陰山、大行兩山脈の接合地帯で、桑乾河が此間を貫流しその限界を劃してゐる。路線はその支流たる洋河及び南洋河の河谷に沿うて下り、東端に近く大行山脈の餘勢、七百五十五米の八達嶺を越え急降下して河北の平野に達する。西は十八臺の稜線を越えると路線の北側に沿ひ、陰山の幹脈が屏風の如く聳立し内蒙古の地域を南北に二分しつゝ、遠く西へ伸び、その南側は黄河の支流たる黒水河がその流域を擴めつゝ黄河を越えて遙かに鄂爾多斯の平原に續いてゐる。

氣象

河北の平野から大行山脈を西に越ゆれば氣象は急に大陸的な特性を強め、晝夜の氣

溫の變化、寒暑の差は次第に著しくなつて來るが大行、陰山の兩山脈の間に狹まれた鐵道沿線の地域ではその度合があまり目立たないものとなつてゐる。氣溫に就いて見れば、北京附近では最低溫期間の一月の平均氣溫が攝氏零下四・五度、盛夏七月の月平均氣溫は二六・四度で、張家口では一月の平均氣溫零下五・三度、七月は一九・三度であるが、遙かに西に移つた厚和に於いても一月の平均零下五・九度、七月の平均は二二・八度で、その差は極めて小さく、又降水量に就いて見ても北京附近では年に五百六十毫米内外で、張家口、厚和は共に四百毫米内外であるから空氣の乾燥度も、河北平野を劃する大行山脈を一線として相當な變化を見せてゐる。風は夏季に東南の季節風が吹く關係上降水量もこの期間に多く、冬季は寒冷な西北風が吹き渡り降雪の量は極めて少い。京包沿線一帯の氣候は概して地圖の上で想像されてゐる程に酷烈なものではなく、寒さに於ては滿洲の奉天以南位に相當し、暑さも日夕の差こそ激しいと云はれるが平均氣溫は遙に低くなつてゐるから夏季も凌ぎよい。このやうに降雨降雪が少いので空氣の乾燥甚しく、冬は風多く所謂朔風胡砂を捲くの風景をば展開するが夏季滿目の綠

住民

野紅白の草花の點綴する風景は蒙古高原ならでは見られぬ絶景である。察南、晋北地域では住民は殆ど漢人で、舊蒙古聯盟に屬する鐵道沿線は漢蒙雜居地帯となつてゐる。而し此の雜居地域も漢人移民の澎湃たる波に年々侵蝕され現在この地方に生業を営む蒙古人の影は寥々たるもので、それも殆ど漢人化し、定住して農業に従事してをり、かの游牧と包の生活は既に沿線では見られないものとなつた。内蒙古五盟全境の蒙古人は約三十萬人と推定されてゐるが、その大多數は黄河以南の伊克昭盟や陰山脈の北側地域に退き昔ながらの游牧生活を續けてをり、舊綏遠省二百萬といはれる漢人が主としてこの沿線に入つてゐるのだから雜居地域とは言ふもの、事實上漢人の居住地域と言つて差支ないだらう。

尙、少數ながら沿線の西端に近い地方は白韃靼と稱ばれるトルコ系タタールが居住してゐる。京包沿線地方は白耳義系カトリック教の布教區で、寺院はカトリックのものが多いが察南地域には別派に屬するものもある。後者は土地を持たぬがカトリック寺院は何れも廣大な土地を所有してゐる。

言語

京包沿線一帯は支那語が通用語となつてゐる。蒙古人も沿線地帯居住のものには已に蒙古語を忘れてゐるといはれるが、嘗つて外蒙古方面と交易が盛んだつた頃には蒙古語はもつと廣く用ひられてゐたものらしく、今も商店の看板などに残つてゐる蒙古文字はその當時の名残でもあらう。蒙疆政權の確立後、蒙古語は公用語として認められて來てゐるが、これは蒙古民族の興隆に伴ふ自然の勢であらう。會話用語は山西方面からの流入者が多い關係上自然山西の土語に近いと云はれる。

宗教

漢人の多いこの地方では矢張り佛教徒が一番多く、住民の七十%が佛教であり、回教徒が之に次いでゐる。京包沿線一帯に於ける回教徒の數はなほ明かでないが舊綏遠、察哈爾の兩省に於ける教徒數は舊綏遠三十八萬五千、舊察哈爾十九萬五千で寺院數は兩省を合して約四百

と謂はれてゐる。教徒の分布状態に就いて見れば大體本線を西へ進むに随つて人口に對する教徒の占む割合も漸次多くなり、厚和包頭附近に於いては二十五%内外となつてゐる。

事變後、北支新政權下に聯日防共を標榜して飄起した回教徒の動きは次第に西北に向つて擴大の兆を見せてゐるが支那西北へ通ずる京包鐵道沿線に於いては、回教徒の問題は政治的にも亦重要な意義を有つものと言はなければならぬ。

尙、復興民族蒙古人の喇嘛教と西歐資本主義侵入の先驅をなすところの基督教とはその社會的、政治的意義が大きいだけにこの地方に於ける宗教としては見逃し得ないものであらう。

【喇嘛教】 游牧民の社會的、經濟的生活に、そこに以前から存在してゐた薩滿教を適應させ且つ單純化せられた北部佛教の一宗派が即ち喇嘛教である。喇嘛教が蒙古に普及したのは十六世紀後葉からと云はれるが最も盛大を極めたのは清朝が蒙古懷柔策としてこの宗教を政策的に利用し出してからである。そのかみ、元朝滅亡の一因が朝廷にあつた喇嘛の權勢とその浪費的な佛事供養の弊にあつたと云はれる様に喇嘛が蒙古民族の抑取と弱体化に演じて來た役割は極

めて大きい。これまで教徒達が北に南に遠く去つて敗殘の生活を送つてゐる時、沿線の隨處に見られる莊嚴な廟宇は本沿線風景中の一の驚異である。

此の類廢の喇嘛教と對照されるのは基督教、殊にカトリック教の勢力である。

【基督教】 基督教がこの地方に入つたのは古く、十三世紀の中葉と云はれるが判つきりしてゐるのは一八二七年張家口北東にカトリック宣教師が入つてからである。その後熱心な布教と宣教師達の苦心經營によつて次第にその勢力を擴大し本沿線を中心とし教區は東は熱河から西は寧夏に及んでゐる。本沿線地區だけでも教會数は百に近く信徒十萬を擁するといはれる。そしてこれ等の教會は布教のみでなく學校や病院や孤兒院等の社會、文化施設を經營すると共に一方に廣大な土地を所有して、之を信徒に耕作せしめ經濟的にも確固たる基礎を築いてゐる。

包頭に近い薩拉齊縣の小平拉蓋は教會を中心として約二千人の信者のみによつて成形された部落で、施設經營に見るべきものがあるといはれる。その他、大同の天主教修導院、厚和の育嬰堂、公醫院などは朝北の不幸な人々には有難き文化の恵であらう。教徒の大多數は漢人であるが蒙古人の歸依

する者も少くない。

政 治

北支戰局の進展に伴れ戰後の各地には治安維持會の成立を見たが、永い間、軍閥の庇政に苦められた地方の民意は期せずして自治の要求へと進んで行つた。それに先鞭をつけたのが察哈爾省二百萬民衆の總意によつて組織された察南自治政府で、その成立の日は我が察哈爾作戦軍が張家口に入城して間も無い九月四日であつた。ついで十月十五日には大同を中心として晋北自治政府の宣言が發せられ、更に同月二十八日には綏遠に於いて蒙漢兩民族三百萬の熱烈な要望によつて蒙古聯盟自治政府が結成された。蒙古聯盟の成立は、忘れ得ない成吉思汗への思慕をいだき永い苦闘を経て來た蒙古民族にとつては殊に感慨一入なものがあつたであらう。

この三自治政府は成立の當初、それ／＼獨自の立場をとつて來たが、東洋平和の理想を目指す三政府の指導精神が、防共、民族協和並民生の向上であり、この共同の目的を一層有効に實現する爲には互に協力することが有利であつたので十一月二十二日三政府の代表が張家口に會し相諮り蒙疆聯合委員會を組織した。

然るに緊迫せる内外の情勢に即して蒙疆政權の更に鞏固なる戰時體制を確保、以て防共特殊地域たる蒙疆を防共鐵壁の陣となすべく、新統一政府樹立の要望は澎湃として起つた。則ち昭和十四年九月一日成吉思汗紀元七三四年を期し德王を主席とし夏恭、于品卿を副主席とする蒙古聯合自治政府の誕生を見、一切の行政組織が中央集權下に置かれた。將來支那本土に新生すべき中央政權との關係は之を課題として殘されてあり、従つて支那宗主權の問題、外交權に觸れず、只事變發展の現段階に即して高度自治政權の體制を示してゐる。

【蒙古聯合自治政府】



産 業

農産、畜産、鑛産等の豊かな資源に恵まれた鐵道沿線の地帯も邊疆にあつて交通が不便なことや、永い間軍閥政治の弊害に禍

され、全線開通已に十五年を経過した今日に於いても、産業の發達は遅々として殆ど見るべきものはない。資源の所在に従つて見れば大體本線東半、晋北地域以東の鑛業と察哈爾盟及び西半の内蒙地域に於ける農業、畜業との二つに大別されるであらう。

鑛産地帯に於ける代表的なものは大同の石炭と龍煙鐵鑛の二つがある。蒙古聯盟に於ける農業は漢人移民の進出によつて、近時非常な發展を遂げ、歸綏、五原の平野は殆ど開拓し盡されたかの感があるが、それだけ蒙古人の游牧地を侵したことも、牧畜業は次第に沿線から影を没しつゝある。

蒙古聯合自治政府に於いて目下蒙疆全般の産業開發につき調査立案を進めつゝあるが、大同の石炭、龍煙の鐵鑛及び畜産資源の維持改善等已に具體化されたものもあり遠からず面目を一新することゝならう。

【開發三箇年計畫】 昭和十三年三月産業五箇年計畫を樹て蒙疆産業資源の開發に着手したが、昭和十四年に入り國際情勢の變化、日本の物動計畫及び日滿支を繋ぐ生産力擴充など内外共に全面的に促進態勢をとるに至つたので新に開發三箇年計畫を樹てた。右は日本の生産擴充に呼應すると共に蒙疆産業資源の開發に重點を置き、石炭、鐵、石綿、鉛の資源開發と之に關聯する石

炭液化、セメント、羊毛、電力、交通、通信各事業の大擴充に向つて進むことゝなり終年度に於ける開發量の目標は大約次の如くである。

- 石炭 大同五百萬噸、下花園五十萬噸
- 大青山四十萬噸
- 龍煙百七十萬噸
- 石綿 二萬噸
- 雲母 一萬噸
- 鉛 十五萬噸

石炭液化は大同炭を用ひ、電力は發電設備十四萬キロに上り、羊毛は在來種の増産とコリデル種の移入による改良と大量日本輸出とで鐵道、自動車、通信施設も亦之に應ずるものである。

○農 業

民國二十三年中國經濟年報によれば察哈爾綏遠兩省の耕地面積は、察省一六、八三九千畝、綏省一八、六六九千畝で支那各省中寧夏、新疆に次いで最も少い地方となつてゐる。しかし兩省の農業は専ら漢人移民の經營であり、而も漢人の侵入地域が主として察哈爾と南半と歸綏平原、豐鎮高地、鄂爾多斯平野の東北部と河套(五原)地方であるから耕地も亦この地方に限られ、従つて沿線に接近し農地方に於ける耕地は全面積に對して非常に多いことは曠かた、事實鐵道

沿線の範圍では農耕適地は殆ど開拓し盡され、僅かに鄂爾多斯平野の東部に未墾地を残してゐるに過ぎない。「黄河は百害あり只一套を富ます」といはれる如く、殊に河套地方の開拓は古く最も富裕な農耕地帯となつてゐる。

主として乾地農業であり水田は舊察哈爾省内に一、八五五(千畝)、綏遠省内に一、四

種	類	察南管内	晋北管内	内蒙五盟管内	計
米	石	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
小麦	石	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
粟	石	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
高粱	石	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
大豆	石	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇

【商業植物】本沿線の特産と稱せられるものに各種の薬用植物がある。代表的なものとしては甘草と黄麻を擧げるがその他、知母、柴胡、大黃、赤芍、枸杞などがある甘草の産地は沿線近くでは包頭一帶から西へ五原、臨河に及んでゐるが包頭に集散するものには更に寧夏方面より出廻り物が加はり、民國二十五年包頭驛の發送數量は四、八八七噸であつた。その他の藥草類も集散地は主として厚和以西の各地で、寧夏方面のものが集まる關係上包頭の數量が斷然多い。黄麻は下花園が主要集散地である。

○(千畝)がある。黄河沿岸のオルドス地方は灌溉の便があるので將來水田の經營が有望視されてゐる。

種	類	察南管内	晋北管内	内蒙五盟管内	計
羊	頭	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
牛	頭	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
馬	頭	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
猪	頭	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇
雞	頭	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇	三、七五〇

農耕地の擴大につれ畜群は次第に沿線から遠ざかつて行つたが畜産は内蒙に於ける最も重要な資源の一つである。本地域内家畜の概數は羊の四百萬頭を第一位とし山羊九十萬頭、牛八十萬頭、騾驢四十八萬頭、馬五十萬頭、豚六十五萬頭で沿線風景の特色とされる駱駝は五萬二、三千頭と見られてゐる。その他鶏の飼養二百六十萬羽があり、卵及びその加工品は沿線特産の一に數へられる。生産數量其他不明の點多いが民

畜産業

つたので、事變後日本側主要業者八社から成る蒙疆羊毛同業會が組織され、現在已に同會の手により蒙疆羊毛の配給統制が行はれて居り、尙昭和十四年三月蒙疆畜産株式會社が設立され家畜及畜産物の賣買、輸出入並畜産物の處理、屠宰場の經營等畜産振興上必要な事業を行つてゐる。

鐵業

大同の石炭と龍煙の鐵礦とは沿線に於ける鐵産資源の雙璧をなすものである。この二つとも既に開發が行はれてゐたものであるが、事變後我が國の資本と優秀な技術をもつて更に大規模な開發が行はれることゝなつた。

この他京包線一帶は殊に石炭の資源が極めて豊富であるが多くの小規模な土法採掘により僅に地方の需要を充してゐるに過ぎない。内蒙五盟地域には鐵礦その他各種鐵産の存在が知られてゐるが、土地の關係上經濟的開發が不可能であるか若くは其他の理由によつて放棄されてゐるものが多い。

【石炭】埋藏量は察南五億噸、晋北大同二百億噸その他十億噸、内蒙五盟地域四億八千萬噸と推定されてゐる。察南では宣化、蔚縣、懷來等を主産地とし炭坑數三十箇所に上るが、下花園を除いては皆小規模

國二十五年本路によつて移出された數量及び主要集散地を示せば左の如くである。

種	類	主要集散地	發送數量
羊毛	張家口、大同、綏遠、包頭	二五、九七四	
駱駝毛	綏遠、包頭	一、六七七	
皮革	綏遠、包頭、宣化	一、五九二	
猪	廣莊、察南一帶	四、四八九	
牛	廣莊、張家口、綏遠	一四、一一一	
羊	張家口	一三三	
工卵及品	大同、豊鎮、平地泉	二、四七三	

羊毛の數量中には黄河の水運によつて遠く甘肅、寧夏方面から運ばれたのを含むがその數量は明かでない、包頭がこの集散市場となつてゐる。駱駝毛は皆て外蒙産のものを多く見たが最近のものが多い。駱駝は重量の負擔に耐へるもので馱獸としてよく沿線では専ら輸送に利用されてゐる。牛は肉用として殆ど現地の需要に充てられ、境外に移出されるものは甚だしい。

現在のところ蒙疆の畜産資源として最も重要なものは羊毛であるが、元來蒙古人が羊を飼ふのは食用が主であるから毛質は粗剛で高級な織物には不適當とされてゐる。從來蒙疆の羊毛は主として米國に輸出されてゐたが、今後これを日滿蒙間のプロツク内に確保することが必要とされるに至

な土法採掘が行はれてをり年産額は二十萬噸に達しない。下花園炭礦はもと京綏鐵路の經營で年産七萬噸、機械設備を有し、この地方有數の大炭礦であつたが、現在は蒙古聯合自治政府の管理下におかれ、目下滿洲炭礦株式會社をして之が經營に當らしめてゐる。

大同炭 大同炭と稱せられるのは、大同の西南約二十軒の口泉鎮一帶の礦區の産である。晋北全産額百萬噸の中本礦區の産は八十%を占め、年額四十萬噸を京津地方へ移出してゐる。

口泉の礦區は數箇所に分れ夫々經營者を異にし、主なるものは晋北礦務局、大同賣晋煤礦公司、同賣煤礦公司、協興煤礦公司の四公司で晋北礦務局は最大且設備も最もよく本礦區全産額の七十%以上を出炭してゐる。

次に内蒙五盟地域では集密二百萬噸、歸綏七千一百萬噸、薩拉齊三千八百萬噸、固陽一億五千三百萬噸、安北九千八百萬噸、鄂爾多斯五千九百萬噸、其他五千五百萬噸で埋藏量計四億七千六百萬噸と推定されてゐるが土法採掘によつて現地の需要を充す程度で年産額も僅に六萬噸に過ぎない。

【鐵】龍煙鐵礦、龍煙炭礦は宣化縣煙筒山、龍關縣辛寨、龐家堡の礦區より成り、

これが採掘は官商合辦龍煙鐵礦公司の獨占に歸してゐた。同公司は民國七年の設立で、宣化煙筒山に製煉所を設け次いで民國十年春、京門支線の石景山に製煉場を建設、十二年その大部分を完成したが偶々時局の變動に遭つて工事を停止したまゝ今日に至つてゐる。民國十二年日本側之を擔保として借款したため、前直隸省長より執行を禁止され、十七年秋國有に收められたが、後鐵道部の所有となつてゐたものである。

現在は蒙古聯合自治政府の管理下におかれ、興中公司によつて再開發が行はれてゐる。鐵質は赤鐵礦、鐵分四十%—六十%平均五十三%の富鐵である。

内蒙五盟地域では固陽に七十萬噸、武川白雲山に三千二百萬噸の鐵脈のあることが確められてゐる。白雲鄂博の鐵礦は赤鐵礦及び輝鐵礦が主で六十%以上の富鐵といはれるが、位置が邊疆に偏し開發の時期に至つてゐない。

【曹達】 伊克昭鄂爾多斯地方の湖から年額千八百噸の産出がある。又察哈爾の年産八千噸と云はれ、張家口北部の正藍旗地方産のものは張家口に運ばれて精製され口驗と稱して京津に搬出販賣されてゐる。

【その他の産産】 内蒙五盟地域では未だ充分な調査が行はれてゐないが、既に知られてゐるものゝみでも次の様なものがある

石綿は武川、薩拉齊、固陽、包頭、歸綏、安北一帯に産し、大青山方面の埋藏量のみでも約六十八萬噸といはれる。蒙農公司、公盡棧等の經營する鑛區は各地にあるが、産額は少く年産二十噸内外を出でない。

その他鄂托克旗のアンチモニー、固陽、清水河の磁土、陶林、武川、固陽、興和及び察哈爾の水昌、華麗石(五色石)、歸綏興和の石炭及び歸綏、興和、晋北天鎮の黒鉛等があるが採掘状況、年産額その他不明である。

○工業

電氣(張家口、大同、厚和、包頭) 製粉(厚和、包頭) 毛織(厚和) 酒精(大同)等に若干近代設備を有するものがあるが本地方の工業は全般的に見てまだ原始的国内工業の域を脱してゐない。經營は全く漢人の獨占到歸してゐるがその主要なものを擧げ

經濟

【商業・貿易】 京包沿線の商業は大體、張家口を中心とする蒙古貿易と包頭を中心とする西北貿易とによつて代表される。

張家口は嘗て京津の大市場と内外蒙古及び甘肅、寧夏の所謂西北地方とを繋ぐ一大中樞市場として繁榮を誇つたものであつたが、外蒙古の獨立以來、庫倫方面との陸路交易が杜絶したこと、加ふるに京綏鐵路が西に延びるに隨つて綏東方面の背後地が平地泉の勢力圏に移つた事及び更に西北貿易の中心が全く包頭へ移つて行つた事などの爲現在はその背後地關係も非常に狭められ僅に察哈爾、錫林郭爾方面を残してゐるに過ぎないので自然落潮にあるを免れない。

之に反し包頭は黄河の水運に恵まれ、所謂西北貿易の中心地として本沿線に於ける最大の市場の一つであるが、綏遠の經濟的價値は綏西にあり、綏西の經濟は包頭の西北貿易によつて代表されると言はれる如く

ると粗紙又は麻紙、毛氈及び毡帽、製革、卵加工、製油、煙草、製繩、銅器、鹽、曹達の精製等である。この中、製毡、製革、曹達、鹽は原料が極めて豊富であるから適當な技術と資本を導き入れるならば充分發展の可能性を持つものであらう。

將來その地位は極めて重要視されるものがある。而して近年は新、甘、寧省から運ばれる土貨の賣行き悪く自然輸入雜貨の商況も不振となり、いはゆる貨業は一般に不況の状態にあるといはれる。

京包沿線の商業を概観するに、近來貿易關係が衰退の一途を辿つて來たのに地方農産關係を主とする糧業は比較的順調な發展を遂げて來たことが見られるが、これは沿線經濟の最近の情勢を示すもので極めて興味ある問題である。

蒙疆の主たる海外貿易港と推定される天津海關の統計に於ても當地域貿易の數字的な全貌を知ることが至難であり、僅かに黄河の水運及び駱駝の隊商によつて行はれる包頭に於ける概況を知り得るのみである。

蒙夏・甘肅・青海方面への輸出品

磚	五十一萬箱	洋	七千箱
煤	四千五百箱	雜	三萬五千箱
各種絲布	一萬五千箱		

前記各省地方からの輸入品

牛	皮	一萬餘張	羊	皮	三十萬張
各種絨毛	一千萬斤	甘	草	一千萬斤	
糧	食	五百萬斤	白	麻	三十萬斤
鹽	一千萬斤	小	烟	四百二十萬斤	

【金融・通貨】 舊察南自治政府は支那事變始つて以來、自治政體の出現に先鞭をつ

けたものであつたが、政府成立以來當局が最も力を注いだのは紊亂せる金融の回復であつた。從來察哈爾地方に於いては軍閥の機關銀行が紙幣の發行權を擁し、各種の金融に相當手廣く携つてゐたものであるが、事變と共に地方金融を操縦してゐたこれ等軍閥の機關がいち早く逃亡して了つた爲、經濟界の活動は一時全く停止の状態に陥つた。そこで察南自治政府はこの住民の窮狀と經濟界の恐慌を防止する見地から緊急通貨防衛令を發布すると共に十月一日察南銀行を設立し、滿洲國幣にリンクする新紙幣を發行して舊通貨の回收を行ふと同時に戦後の金融工作に當つて來た。

その後、戦局の進展につれて察南銀行の活動範圍を擴大して行つたが、蒙疆聯合委員會の成立と共に、更に蒙疆全般の金融統制を行ふことが必要とされるに至つたので、之に綏遠平市官錢局、豐業銀行を合併し蒙疆銀行として新設されることとなつたが、引續き幣制の統一と金融改善に努めた結果、今日既に蒙疆の幣制は完成の域に達し、又蒙疆銀行を唯一の爲替銀行として事實上の爲替管理が行はれてゐる。目下蒙疆地域に流通してゐる紙幣は蒙疆銀行紙幣、日本銀行紙幣、鮮銀紙幣、滿洲中央銀行紙幣で何れも同價で通用する。尙舊蒙聯に於

交通・通信

【鐵道】 北京を起點とし察南、晋北を経て包頭特別市に至る延長八百六十六軒の京包鐵道は蒙疆唯一の鐵道であつて、目下華北交通會社をして一般旅客、貨物の運輸に當らしめてゐる。(旅行機關・鐵道の部参照)

【自動車】 自動車輸送は事變の結果、既存の車輛が悉く支那軍の奪取するところとなつた爲、一時全くその機能を失ふに至つ

たが、目下蒙疆汽車公司の手により新式優良車を各地に配置し、漸次路線の擴張を行ひ、着々その實績を擧げつゝあり、現在營業路線約二千軒に達してゐる。

【郵電】 事變の混亂により一時機能を停止してゐた郵政事務は昭和十二年九月、察哈爾交通委員會の成立直後、滿洲國側の援助を得て治安確保された地方より逐次接收を開始し、十月中旬には北支郵政との通郵成立し、一先づ中華制度に依る通常郵稅の業務を開始するに至つた。

又、電信、電話はその性質上、當初一時的に軍の管理下に置かれてゐたが聯合委員會成立後、郵電の一元的經營の大方針が決定され、之が爲に曩に蒙疆郵電總局が設立されたが、其後蒙疆郵電の統制計畫は着々進捗を見、昭和十三年三月初、資本金一千二百萬圓、日蒙合辦の特殊法人蒙疆電氣通信設備會社の設立によつて全くその基礎を確立するに至つた。

電信設備は政府に於て之が恢復に努めた結果現在では通信可能路線二〇〇〇軒に達してゐる。

尙政府より各縣城に通ずる幹線の整備並に對外との通信網裝置を計畫中であり、無線電信も一部通信を行ひつゝある。

昭和十五年四月十五日印刷
昭和十五年四月十九日發行

滿支旅行年鑑……冊付
正價 金壹圓參拾錢

不許複製



編纂者

法人團

（ジャパン・ツーリスト・ビューロー）
日本國際觀光局

右代表者

滿洲支保部
北條保平

發行所

株式會社 博文館

右代表者
取締役社長

大橋進一

印刷者

大橋光吉

發賣所

東京市日本橋區本町
振替口座東京二四〇番

株式會社 博文館

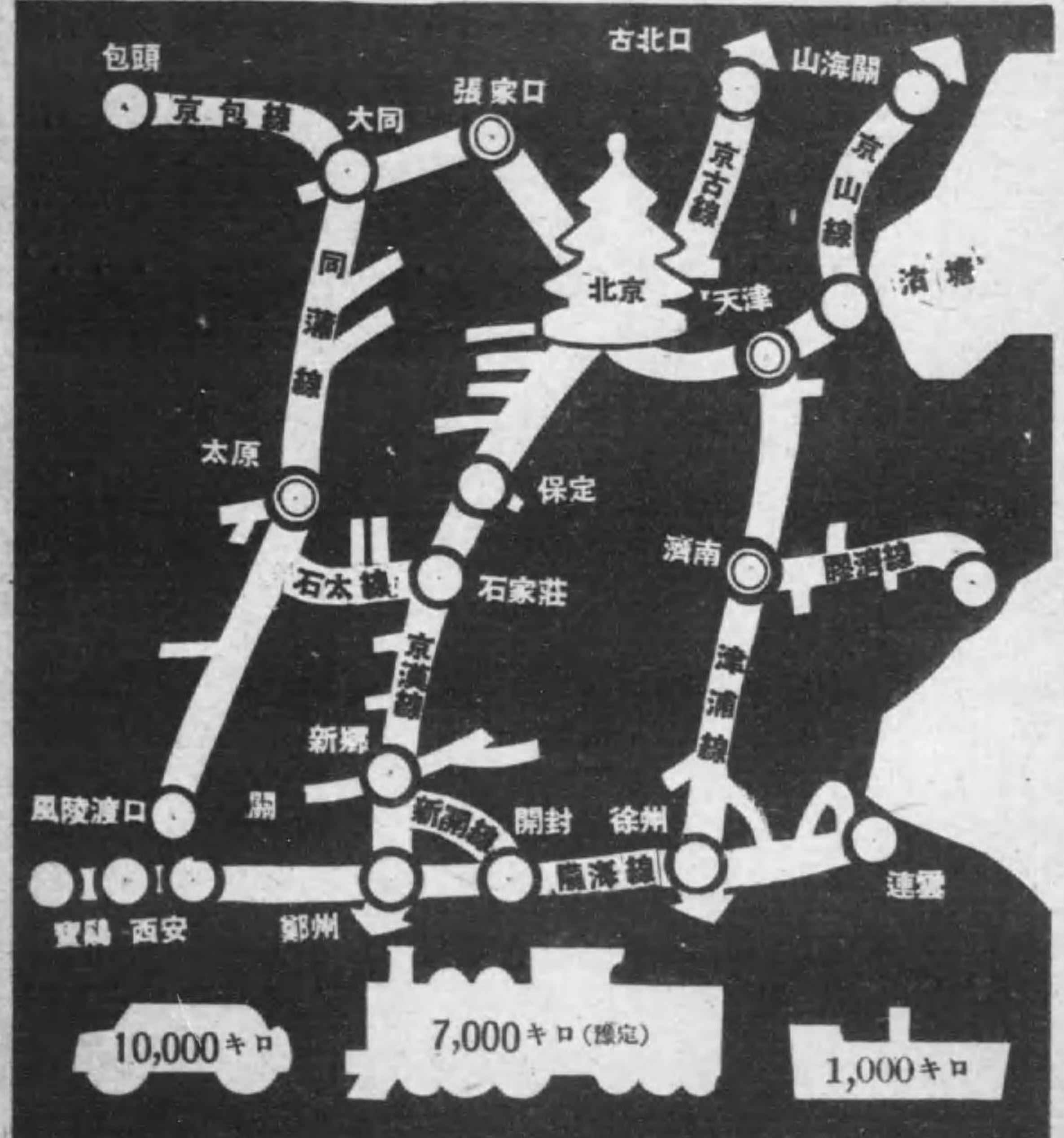
共同印刷株式會社印刷

14.5
846



滿洲航空株式會社

北支蒙疆の交通網



華北交通株式會社

- ▷ 事業 — 鐵道・自動車・水運
- ▷ 本社 — 北京
- ▷ 組織 — 日華合辦
- ▷ 鐵道局 — 天津・北京・濟南
- ▷ 資本 — 三億圓
- ▷ 張家口・太原
- ▷ 社員 — 九萬人
- ▷ 創立 — 和昭14年4月17日

伸びる伸びる
東亞の文化！

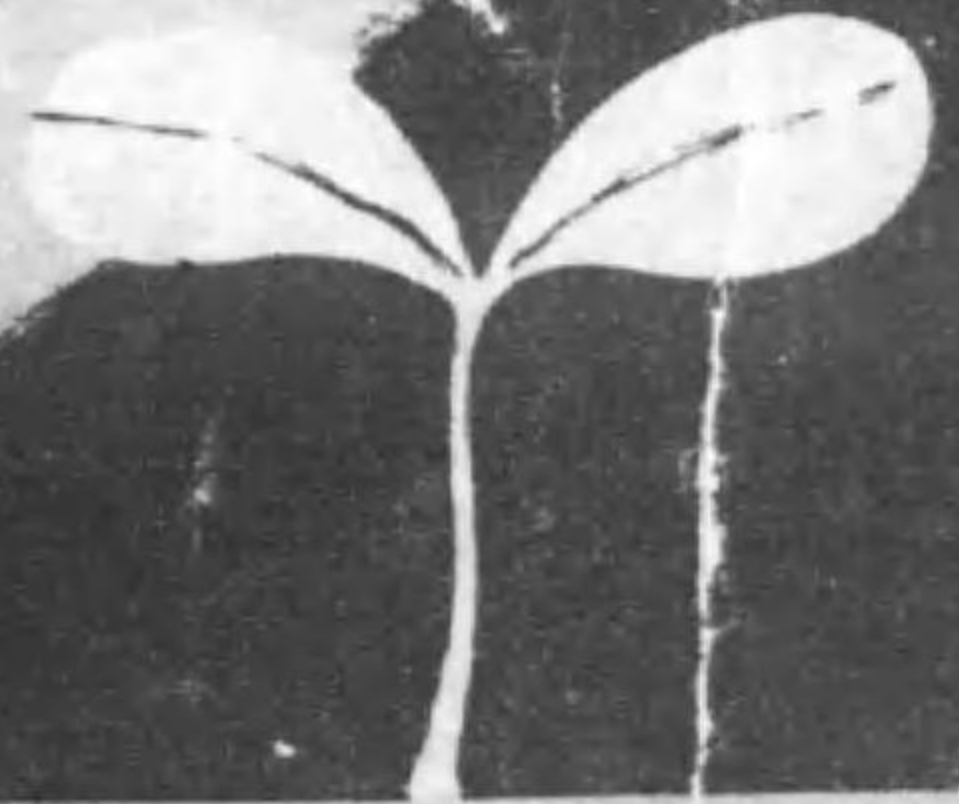
文化の進む所鉛筆のない所はありま
鉛筆の良否は仕事の向上に大
影響を及ぼします。貴方の机上には
有用ある商品をし



マークに御注意

製 園 用 ・ 事 務 用
筆 記 用 ・ 學 生 用
特 殊 用 ・ 色 鉛 筆

全國ドコの文房具店に
もあります



キレイに削れて、ハツキリ書ける

トンボ鉛筆

東京 トンボ鉛筆商事株式会社

終